

ベビーゴルフ

特 223

698

遊び方

マイケル・J・ライリツプス 著



始



特223
698



マエケル・ジュー・フィリップス著

ベビー・ゴルフの遊び方

東京往來社發行



はしがき

ミニアチュア・ゴルフをなさる皆様が知らうと望んでゐる事——もつとはつきり言へば、これ等の人たちに必要缺くべからざる事——をお教へするつもりで、著者は此の本を公開します。此のゲームにより満足を得んとする方、又、巧く球を打つたときのゾク／＼する様な喜びを望まれる方、如何にして、又、何故に巧く球が打てたかを知つた上での快味を味はんと望む方は誰も彼も、恐らく、私が此の書に於て簡単にしかも明瞭に述べてゐる事實を知らないで過すことは出来ないでせう。

ミニアチュア・ゴルフの基礎は球を打つ方法を知る事です。是れこそ此のゲームの根本問題です此の基礎を知らなくとも、或る一つのコースを幾度も競技すれば或ひはそのコースを充分に知る事は出来るでせう。

そしてコースのカーヴや曲り角は残らず巧く利用する事が出来るものですから、かなりの成績或ひは立派な成績さへ上げ得るかも知れません。

併しながら假にその競技者が正しい打球法を知らないとして見ませう。そして、その人が自分の餘りよく知らないコースに行くとしませう。彼は熟練者が打球法を教へても正しく打つことが出来ませんから、同じ曲り角に於て、同じ姿勢を二度取る事も出来ないし、同じ方法で球を適當な鈎衝と力を以て打つ事も出来ないでせう。結局彼は競技から追出されて、何故に熟知のコースで得るいつもの好成绩を上げ得ないか、その理由さへ解らない始末になるでせう。

教示を受けないでも、スタンスを取る事は出来ませう。そしてその姿勢に慣れて、かなりな好成绩を収める事も出来ませう。併し、長打又は正確を要する打撃の際には失敗するでせう。眞の打球法の知識に通じて居ない人は、ボールを二度同様に打つ事が出来ません。そこで、ボールは二度續けて同方向に飛ばないわけです。

若し讀者が此の書を充分に熟讀し、巧みな打撃の根本法則をよく練習し、正しい位置の圖解をよく研究し、幾度もコースに就いて試みられるならば、恐るべき打撃者になることが出来ます。ミニアチュア・ゴルフの第一流の達人になる道はこの外にはありません。

目次

序文

- 第一章 ミニアチュア・ゴルフの起原……………(1)
- 第二章 今日の競技……………(2)
- 第三章 打撃に就いて……………(15)
- 第四章 他の二つの握り方……………(28)
- 第五章 正しいスタンス……………(36)

第六章	球を入れる方法……………	(48)
第七章	ゲームを研究せよ……………	(57)
第八章	諸君の期待すべき事……………	(64)
第九章	ゲームの規則……………	(70)
第十章	コース上の禮儀……………	(79)
第十一章	術語解説……………	(87)
第十二章	曲折打撃の事……………	(108)

第一章 ミニアチュア・ゴルフの起源

ミニアチュア・ゴルフはどうして始まつたか。

之は誰も直ちに思ひ浮べる疑問である。だが其答へは「誰一人として知らない。」勿論、その跡を辿つて行けば、完成したコースを有するゴルフといふ「親」の競技に溯る事が出来る。併しながら、此の事も大した役には立たぬ。何故かと云へば、ゴルフが何處で事實上始まつたか、又従つてゴルフの祖先は何であつたか、誰一人として知らぬからである。

事實を云へば、ミニアチュア・ゴルフは人類の發生と共に始まつたのである。人間は昔から今に至るまで或る一種のゲームを行つて來た。そして其ゲームに於ける球と、之を打つ棒とは人間の生活に重大な役割をつとめたのである。恐らく、最初の穴居人が自分を保護し、食物となるべき物を殺すために、太い瘤だらけの棒を持つて居たのが、偶然にも遊び半分に其棒 硬い瓢箪を

打つて見たのであらう。すると、殆んど圓い形をした其瓢箪は、地上をコロ／＼と轉つて行つた穴居人は獸の様に喜んで叫び、再び瓢箪を打つた。

次に、彼は走つて行つて仲間の者に之を示した。仲間は次々に瓢箪を飛ばし始めた。間もなく細かな規則は餘りないが、競争の氣持を必ず有する。或る一定の大まかな規約——つまりゲーム——が始まつた。多分、最初からあらゆる事が行はれたに違ひない、そして競技に餘り上手すぎる者は棒でコツンと一つ毆られて、試合から投げ出されたに違ひない。

之等の事がすべて事實であるならば、(又疑ひもなく事實であるが)我々は昔より今に至るまで大して變化して居ない。アイス・ホツケーに於ても、多くの頭が、あの長い曲つた棒を以て、痛快な一撃を食らはされてゐるのを見る。

若しもこのゴルフの發生説がほんとはないと疑ふならば、ボールとバットとが活躍する遊戲の數を一寸考へて見るがいゝ。

ミニアチュア・ゴルフ。ピッチ・エンド・バット・ゴルフ即ちゴルフの先祖なるゲーム。ホツケー及び其貧弱な兄弟と云ふべきシイニイ。野球。室内野球。ラクロス。ペロタ。壁にボールを打ち飛ばす「西米ゲーム」。テニス。ラケツツ。ポロ。ピンボン。ボウリング。蹴球、アメリカ式

蹴球のみならず、ラグビー式及びサッカー式。ローン・ボウリング。フットボール。ハンドボール。プレイ・グラウンド・ボール。プッシュボール。バスケットボール。馬上で競技するプッシュボール。フーパー大統領の好きなメディシン・ボール・バツシング。……
手品師が口に啣へたフォークの先端で馬鈴薯を捕へる時でさへ、彼は昔からあるボールとバットの遊戲を行つてゐる。

諸君は云ふかも知れない。まあ、待つて呉れ。君は他の領分を侵しすぎる。君の所謂バットなるものは、蹴球やハンドボール、又君の云ふ馬鈴薯突刺しの手品には無いぢやないか、と。

いや立派にある。蹴球に於て、ボールがパスされる時は手が即ち棒である。蹴られる時は足が棒である。ボールが運ばれる時は、運ぶ人間自身がボールをゴールに投げ飛ばす棒となる。故にボールとバットとは全く我々の生存のあらゆる隅々にまでも行き渡つてゐる。昔カリフォルニア洲に於ては子供達は一種の地上ポロを、瓢箪と、曲つた槌に似た頭のある棒を用ひて行つた。之等の棒を手に取りれるために、彼等は若木を掘上げ、其の太い根を棒の頭として用ひた。

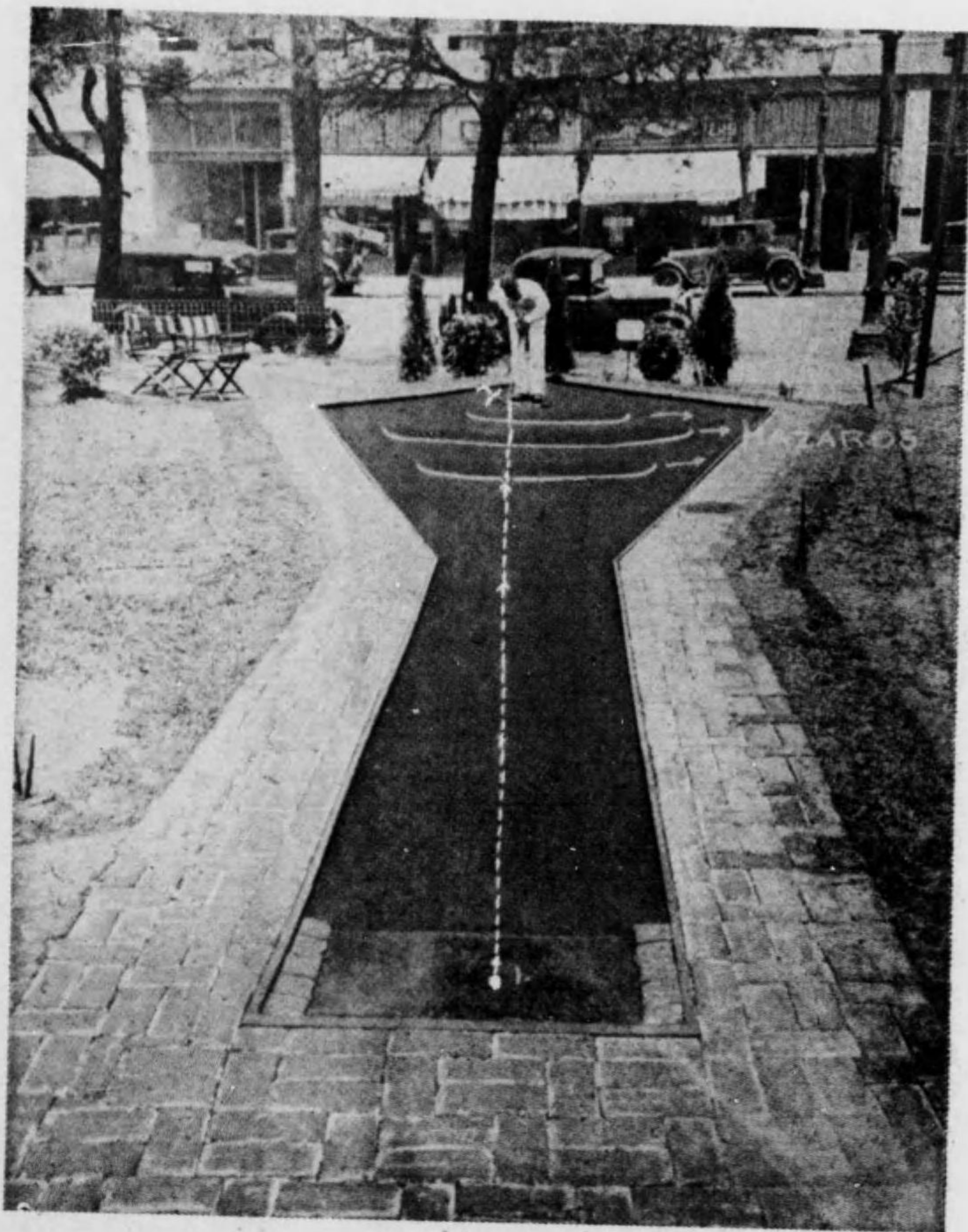
樹木の茂つた、人跡稀なメキシコ叢林地帯の中心にある遺跡が最近發掘された。大宮殿の遺骸が發見され、同時に、長い高い眞直な花崗岩の壁も數多發掘された。此の壁は競技場の一部であ



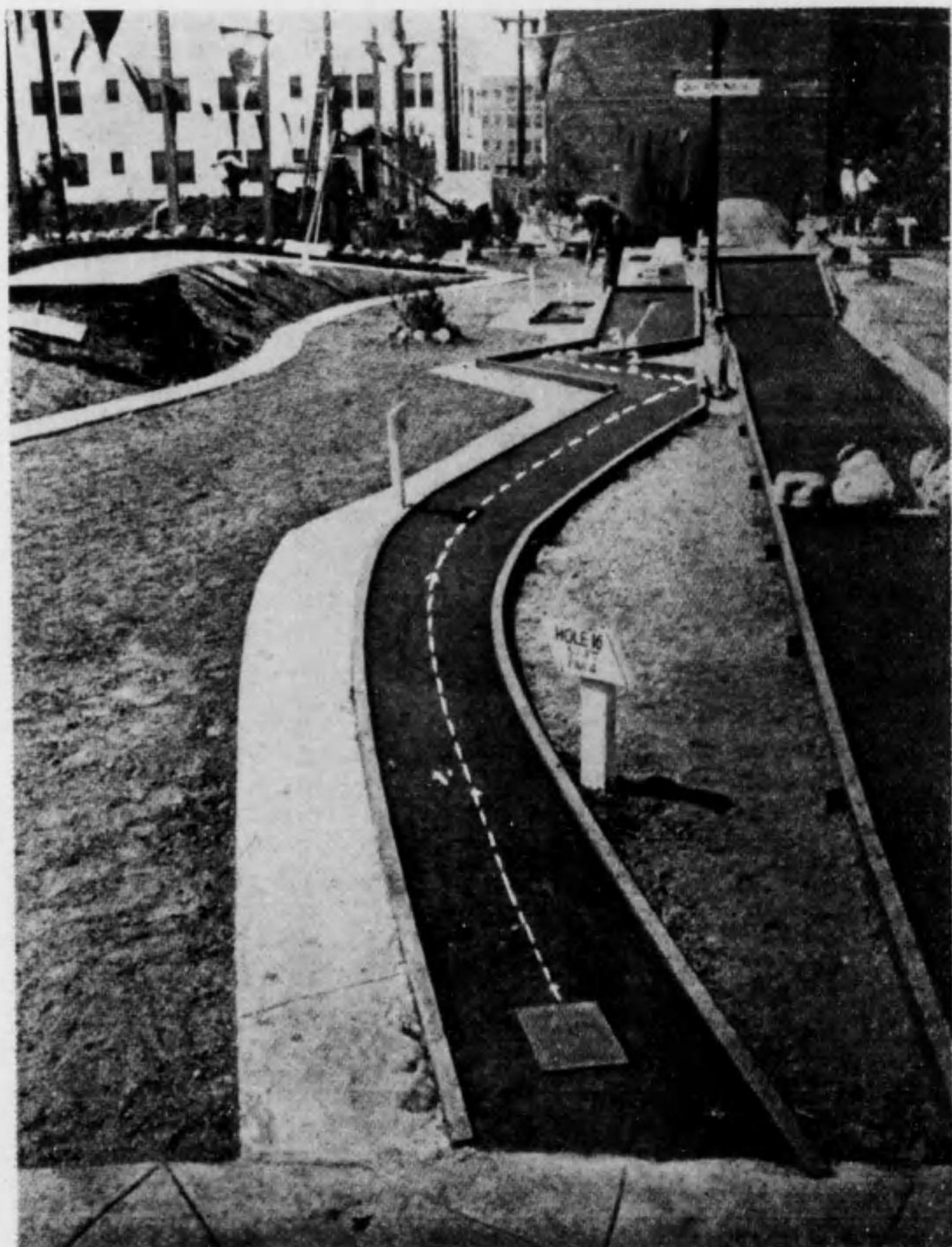
一寸法師の歌手連中がカリフォルニア州ロングビーチ・オウシヤン街サアリス大通りにあるトム・サムのコースで遊戯してゐる所。彼等は非常に興味を覚え、大いに熱中した。最後になるに従つて歌ふよりも罵る聲の方が多くなつたと云ふ。

る事が分つた。壁のかなり高い所には一定の距離を置いて石の環が取付けられてゐた。此の環は壁から真直に外方に向つて突出し、壁と直角をなすやうに取付けてあつた。換言すれば、壁に沿うて歩く人には環の面が眺められた。

此の遺跡を發見した科學者達は之等の建築物を建てた人種が何種族であるか全く知らなかつた。



之がロサンゼルス市ラフアイエット公園六番地の「ラフアイエット公園ミニチュア・ゴルフ・コース」の第十五ホール。ホールは其距離二十八呎、パア。高くなつたグリーンは直径五呎、約三呎だけ地上より高めてある。二つの四半楕の形をしたハザードがあり、グリーンの後方にあるの、其幅端から端まで一呎、中央の幅十八呎、高さ三呎。第二のハザードは長さ五呎、幅十五呎、高さ三呎。パアとするには球をハザードを乗り越えてグリーンの上に止めねばならぬ。



カリフォルニア州ロサンゼルス市ウルシヤアンドコーラン「ゴルフアの樂園」に於ける第十六ホール。距離五十七呎、バア4。全く難しい。此のコースには立派なホールが多く、従つて屈折打撃を心得て居ねばならぬ。コースのバアは七十七、之によつて其困難なる事が判る。南カリフォルニア最長のものと云はる。約半哩許リ。

幾千年といふ古い彫刻文字もあつたが之を讀むべき鍵キがなかつた。科學者達は壁から突出した之等の石環が何の役をなすのか分らなかつた。遂に彼等は滑々した圓形の石を發見した。之等の石を試して見ると、餘りに易々とはないが容易に環を通り抜ける事が分つた。即ち又もやボールとバットのゲーム——絶滅した種族の變形バスケット・ボール！

赤坊が先づ起上る事が出来るやうになつて、自分の手か、又はガラ／＼太鼓を以て打つ事の出来るやうな柔い球を與へられると、彼は喜んで得意顔に笑ふ。赤坊が起上る事が出来ない間は、彼の顔面に糸で吊された球を一生懸命に打たうとする。

動物でさへ、バットとボールのゲームを好む。あらゆる種類の猫族、即ち爐邊に居る愛翫動物から獅子、虎、豹に至るまで、ボールを前肢で、いつまでも打たうとする。犬も睡眠前に打ち出された、又は投げられた球を幾時間も續けて追はうとする。海豹でさへ、軽い柔い球を一匹の長い鼻から他の鼻へ熱心に投げながら、仲間とゲームする事を好む。

我々は、何事でもあれ、あまりに詮索するのを嫌ふ。ミニアチュアゴルフをやる人々、殊に若い人々は云ふだらう「此のゲームの細かな點まで知る事が何の役に立たう。とにかく此のゲームは一時的の流行に過ぎない、だから一年立つか立たぬかの間に、絶えて忘れられてしまふだら

う。何故に私とそのゴルフに就いての知識を問題外として、唯氣晴しのために行つて楽しんでいけないだらうか？」と。

お答は次の様である——唯の一時的流行ではない。

此の事は、人間があらゆる時代を通じて、バットとボールに對する愛好の種々なる事實によつて證明されてゐる。故にこのゲームは絶える事がない。野球、蹴球そして大ゴルフのゲームが存続すると同様に存続するに違ひない。此のゲームは人の心深く潜んで居る欲望を満足させるのであるから眞の需要なるものが存在する。そこで、之を正しく競技する方法を學ぶと、フアンの數は増す。又競技者は之を増々流行させ得る。

併しながら變遷は必ず行はれやう。現在、國中到る所に熱狂的に建てられてゐる多くのコースの中、大部分は再び人が集らなくなるだらう。他のコースはもつと人々を引き付けるやうになり、確實に商賣を續けるだらう。其等のコースはホールの組を二つも有する程の大きいものとなるらう。一組のホールの方は極めて易しく初心者爲めに作られ、他の組はもつとく、難かしく眞の競技者の爲に備へられる。この連中は最初の簡単な打撃をとつくに卒業して、自分等の腕前を眞に試して見たいといふ人々である。そして、此の難しいコースを行ふ者は正しい打撃法を學び得た人々であらう。

第二章 今日 の 競 技

ミアチュア・ゴルフは僅かに四歳の子供に過ぎない。そして太陽の輝く南國地方で生れた者である。ガアネット・カアタア氏がテネツシイ洲チャスタヌーガの傍にあるルツクアウト山の頂上にフェアリイランド宿屋——現在はフェアリイランド俱樂部——を所有してゐた。此處は昔も今も美しい所である。其名は、カアタア氏が、自分の所有地を客の子供達に氣に入るやう、ホテルの傍の繁茂した森林中に小さな「お伽の國」^{フェアリイランド}を作つたと云ふ事實に由來する。

彼は洞穴やプールや水門を造つた。思ひ掛けぬ所々に「小さな赤い馬乗り帽子」の人形だの、トムだの、又は笛吹きの子のトムだの、マフィット嬢ちやんだの、其他子供心に懐かしい所謂「可愛い人々」があちらこちらに置いてあつた。このお伽の國と列んで、宿屋の傍に打球の芝生があつた。大人連中が打撃を練習してゐるのを見ながら、彼は「お伽の國」に子供達が子供達

専用のコースを欲しがつてゐるだらうと思ひ付いた。そこで九ツのホールのあるコースを一つ造つた。それは簡単で容易なものだつたが、障碍箇所は美しく設備がよかつたので、大人の連中も競技し始めた。

間もなく、彼等はこのコースが外見程簡単なものでない^と悟つた。お父さん達やお母さん達が集つて来て子供を押しつけ、十八の完全なホールを要求し、之が實行された。

カアター氏は、嚴格に云へば、之こそ最初のミニアチュア・コースであると主張しはない。勿論、數年前から今に至るまで遊覽宿の附近には小さなコースがあつて、其所ではパツターのみならず、近距離用アイアンまで用ひられてゐる。

カアター氏は今や世間に廣く行はれてゐるミニアチュア・コースの最初の型を設けたと一般に信ぜられてゐる。「お伽の國」のコースは彼の大好きなものとなり、彼は障碍を増加したりホールを變へたりした。最初は唯面白半分にして居た。間もなく彼は金を儲ける機會を見付けて、三年後の一九二二年に全コースを賣りに出した。

彼は避ける事の可能な障碍^{ハザード}を造つた。彼の小冊子の中で彼は其他の材料の種類や量を細かに述べてゐる、彼の青色寫眞版に依つて見れば、十八ホールのコースを種々に列べる型を殆んど全部



之が此の書の先に述べてある、スクエヤ・スタンス、兩脚は一線上にあり、足指が少しく内側に入る。脇は内に引付ける、腕を張出さない。背は腰の所から曲げる。肩はかなり曲げる、尤も深いカーヴを爲す程曲げぬ。頭はかなり上に舉げ、眼を球の上に落す。オーヴァーラッピング・グリッブを用ふ。

列擧してゐる。第一番コースはチャタヌーガ市の中心に設けられた。それは公園内にあり、今に至るまで使用されて居る。他のコースが續々と南部地方に到る所現れた。

カアタアの「お伽の國」コースは、彼が之以上改革すべき餘地を見出さなかつた時に、その費した金は二萬五千弗であつた。昔のハザアドが少し今も残つてゐる——穴のある材木だの、鳥小屋だの、土管だの、小さな水のハザアドだの、又は溝のある傾斜面等が残つてゐる。

カアター氏の事業より直接的又は間接的に影響を受けて二つの特許コースが完成した。其一つはトム・サムであり、他方はボブ・オ・リンクである。「サタデイ・イブニング・ポスト」、「リテラリー・ダイゼスト」等の雑誌が廣く國中に廣告した爲に、國內到る所、驚くべき特許コースの賣却が行はれた。

多くの特許が認可される傍、昔からのコースは互に激しく争つた。多くの眞に美しい、獨立したコースが設備された。特にこの事實は西部地方に著しい。西部では一年中殆んど絶える事なくゲームを行ふ事が出来るからである。獨立せるコースは間もなく新工夫を凝し、思ひ／＼にハザアドを造り始めた。

特許權侵害の告訴に就いて色々なことが言はれて居る。併しミニアチュアゴルフ競技者はどち

らにも味方しない。言ひ換へればどちらでも構はないのである。彼に取つては、多いほど増々愉快なのである。心を引付ける、慥しく照されたコースに、微笑してゐる親切な附添人と、珍奇なホールが設けられあるのを知るや、忽ち彼は競技したいと思ふのである。我々は此處で一吋止まつて、此の微笑こそ必要缺くべからざるものであると云ひたい。

何故かと云へば、此のゲームは未だ若い——年齢に於て若くないとしても少くとも気分は若い——華かで陽氣で元氣に満ちた好スポーツである。全體が仲よく競技する氣分に包まれてゐる。若し、ミニアチュア・ゴルフ・コースのあたりにニコ／＼してゐる額の數が少ない時にはきつと何處かに缺點がある——それは場主が日々の収入を算へる時に自ら判る事であらう。

なぜ皆が一様に競技して——充分に楽しんでいけない理由があらうか？ 競技してならぬ理由は無いとお答へしやう。すべての議論が賛成する。此のゲームは根本が極めて簡單である。之こそ人の心を引く一つの長所である。初歩の指導教授を縮めれば、僅かの一綴の語となつてしまふ、即ち「之がボール、あれがホール、之が打入れるスティック、之で一切合財だ。」併しながら、言ふまでもなく、他の幾多の簡単な物事と同じく、一寸表面上現れた様に簡單なものではない。

老若男女、誰でも一緒に遊ぶ事が出来る。此の本の中に、六歳の金髮少年の寫眞がある。彼は

自分に合せて造られたバツターを持つてゐる。彼はこのゲームが大好きで、いつも少ない点数で試合してゐる。靴をはかぬ子供達でも皆彼と同じ様に楽しんでゐる。一家族が残らず一緒になつてコースで試合する事が出来るし——又實際に時々試合してゐる。コースの大部分は戸外で新鮮な空氣に浸つてゐる。尤も室内コースも、隅まで照され、通風、暖房装置の備つたものが東部にも西部にも、早晚出来るに違ひない。ゲームに依つて友情が生れる。其根本精神は健全である。誰も之を非難し得ないし、又事實上非難した者もない。

人生に成功すべき資格もミニアチュア・ゴルフの中に含まれてゐる。世間で上位の身分に登るためには、最善の努力を盡し、感情を制御せねばならぬ。ミニアチュア・ゴルフに於ても同様である。堂々と勝ち、堂々と負けねばならぬ。不運に壓倒されてはならぬ。落膽しない様に勤めねばならぬ。ミニアチュア・ゴルフに於ても同様である。下らぬ人間に墮落する機會と戦ひながら一生の成功を占めるには、或ひはミニアチュア・ゴルフで勝つには、之に伴うて不幸も襲つて來るのであるから、或る特殊な資格が必要である。

其資格を最もよく表はしてゐるのは、古風なアングロ・サクソン語のガッツといふ語である。

第三章 打撃に就いて

一面に於て、ミニアチュア・ゴルフはスポーツであり娛樂であるとして見られるが、それだからと云つて、軽々しく取扱ふ事は出来ない。いやしくも、立派なスポーツである限り何れも同様であるが、ミニアチュア・ゴルフに於ても、先づ知識を得た上で幾度も充分に實地に練習せねばならぬ。一寸見ると容易いやうであるが、此の書に前に極めてはつきりと斷言した様に、知識なくしては容易なものでない。そこで次のやうな話に傾聴されたい。

四人の老紳士連が普通のゴルフ・コースで競技してゐた。競技場は鐵道に沿うて横つて居り、鐵道の上には一聯の車があつた。その中の一つの車の上に一人の荒くれたブレイキ係の男が、悠々と場を占めながらフォーサムと其努力とを眺めて居た。さて、此の古參連中は世界第一流の選手ではなかつた、と云つても、兎も角、下手の横好きといふわけでもなかつた。



之がオープン・スタンス。之も流してゐる姿勢。左足を軽く引き両肩がブレイの線と直角にならない。反対に左肩を棒から引く。フイング スクエヤ・スタンスと同様に、バツターのヘッドは直角に振り戻す。ミニチュア・ゴルフコースは通常いつもはつらつとしてゐるの バツク・スウィングは六時以上に達することは稀である。時計の振子の様にブレイドが前進し、ひどくではないが爽快に球を打つ。打つた後を引ひ、腕力をなくして止る。球のあつた所から前が出るのが當然である。

併し彼等は時々へまな球を打つた。その度にブレイキ係は嘲笑するやうに大聲で笑つた。彼等は大騒ぎしながら氣の附かぬ振りを装つた。併し心の中ではブレイキ係りが癪でならなかつた。函車に乗つた此の不吉な豫言者を前にして彼等の競技振りは次第にへまになつて來た。彼度は丁度ブレイキ係の眼の下にある、第十七番目のグリーンに到着した。そして互に三四回宛打つて見たが球は地中にめり込むに過ぎなかつた。「アツハツハツハツ」とブレイキ係は大聲を擧げた。之がグツと癪にさはつた。

「オイ、君」とその中の一人が云つた。「此のゲームが容易いとても思つてゐるのかね？」

「勿論ですとも。」と早速に返答が來た。「せいぜい球を穴の中に入れるだけぢやありませんか。

一體どうしてそんなにやたらに無駄な大騒ぎをするのですか？」

「ぢや君は自分なら巧くやれると思つてゐるのかね？」

「やれますとも、尤もこの年になるまでそんなスティックは一度だつて握つた事はありませんが。」

古參連はしてやつたりと許り眼でうなづき合つた。遂に口先ばかりの悪口屋をとつ捕へたのだ！

「ぢや、こちらに來給へ。」と連中の代表者が命令した。ブレイキ係りはこそくと降りて垣を潜り抜け、第十八ティーにやつて來た。彼のために一個の球が置かれた。馬鹿にした様な丁寧さで彼の手にドライヴァーが渡された。

「向ふの旗が見えるかね？」彼はうなづいた。「よろしい、君が云つた通り、事はたゞ球を穴の中に入れ、ばいゝのだ。旗はカツプの中に立てゝある。この旗をピンと云つてゐる。若しこのピンに打ち当てれば球は恰度巧くはいるだらうよ。たつた三百ヤードだ。さあ、飛ばして見給へ。」

ブレイキ係は手に唾を吐き、彼方のピンを一寸眺めて、クラブを一振り振つた上でカツ飛ばした。鮮かにパツと音がして球は飛び出した。球はまるでロケットの様に正しい、美しい孤線を描きながら上へ擧つた。呆氣に取られた四人の連中は球が二百五十ヤード以上もある彼方に落ちて來て、大きく跳ねながらグリーンに達し、ピンを去る事數インチの所で止まつたのを、ちつと瞠めてゐた。

ブレイキ係は馬鹿々々しさと大いに失望した表情で、列車の方へ振り向いた。彼は唸り聲で云つた「畜生、へまをやつた！」

以上の物語の教へる所は自信とは不思議なものだといふにあると思ふ。事實さうである、併し

他面から考へると、さうでない。ブレイキ係が其後規則通りにゴルフをやつたとしたら、恐らくはこの様ないゝ當りは幾千回續けて打つても不可能であつたらう。

バターを業々しく握るミニチュア・ゴルフ競技者に就いても同様の事が云へる——アングルも脚も皆型を外れてゐて而も第一ホールに少い點數を取る事がある。若し其競技者が其全くの幸運のために思ひ上つてしまふ様な事が無ければ、彼は素質が良いのである。

若し、彼が此成績は殆んど奇蹟に近い稀な偶然であると悟る事が出來れば、彼は立派なミニチュア・ゴルフ競技者になれる。若し彼が自分の腕は完全なものだと考へるならば、彼は決して上達しない。繰返して云ふが、立派なゴルフ技術は、其コースの大小に關らず、幾百年前から存して居る或る根本法則に基いて樹てられてゐる。

スコットランドはゴルフを生んだ土地と信ぜられてゐるが、研究した所に依ると、此のヒースと薊の生えた連中は多分ゴルフを約一千年前に支那から輸入したらしい。未だスコットランドが無かつた以前から、現在のゴルフによく似た一種の蒙古のゲームがあつた。

幾百萬の人間が之までゴルフを競技して來たのである。彼等は自分達が工夫した型を以て、色々試みて見た。その中には仲々頑固に遣つたものも居る。併しながら、色々な打撃法の種類を殘

らず試した後に、結局全體をまとめて一定の方法を作り、之に依つて殆んどすべての人が正當なゴルフをやるやうになつた。そして此の方法を用ひないでゴルフをやるのは先づ誰人にも不可能である。

誤解のないやうに願ひたいが、此の方法は一つの事をするには唯一つの手段しかないと主張する様な頑固なカチノゝのものではない。決してそんなものではない。此の順序方法が正道を進む傍に、二三の傍道があつて之を用ひ得るし、又實際にも用ひられてゐる。例へばボールを打つときの姿勢即ちスタンスには三種ある。又クラブを握る方法にも主なるものが三種ある。上手なゴルフ競技者、及び選手達はスタンスとクラブの握り方も異つてゐる。併しながらすべて之等の相違は正當な傍道なのである。

先づバッターの握り方に就いてお話ししやう。競技者は何より先に、第一にクラブを手に取り適當に手を置かねばならぬ。若し其人が右手利きでシイニーや野球を遣つた経験があれば、彼はあたりまへに握る。即ち彼が會つて遣つた事のあるシイニーの棒や野球のバットを握つた様に握る。

右手は左手の下に置く——即ち棒の上先端より一番遠く——そして指と親指とは固くクラブを

握る。左手は右手の内側に密着して滑り込ませ、両手は固く接觸する。右手の脊は上を向く。左手の脊は多少下を向く。之が自然的握り方である。之の握り方が之まで教へられた事のない又普通の大ゴルフを遣つた事のないミニアチュア・ゴルフ競技者の大多數によつて用ひられてゐる。

此處で明かにして置きたいのは、此の自然的な握り方が全く正しい事である。ゴルフ競技者達から適當と認められてゐる。それは簡單で本能的である。其處に大きな長所があると私は思ふ。後に此の握り方を用ひるべき者は誰であるかを説かう。

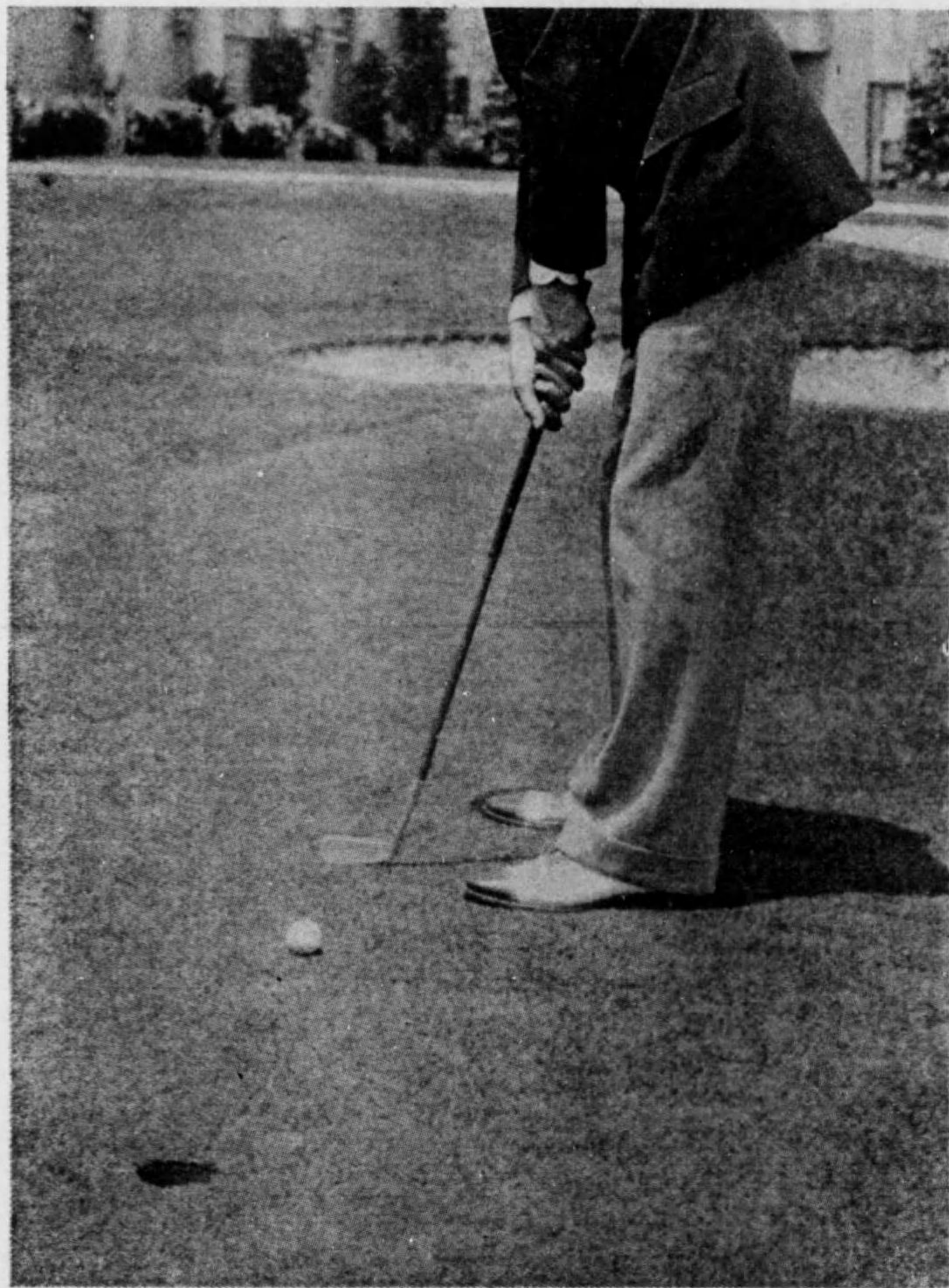
右手利きの人にあつては、右手は主要な手であつて、右手と右腕とが最大なる力と打撃とを司る左手は殿をつとめ、右手に支配され、右手の強打撃に對し、弱い力と滑らかな打撃とを副へる。左手の利く人であれば、握り方は反對である。即ち左手が柄の下位にあり、右手は支へてゐる。



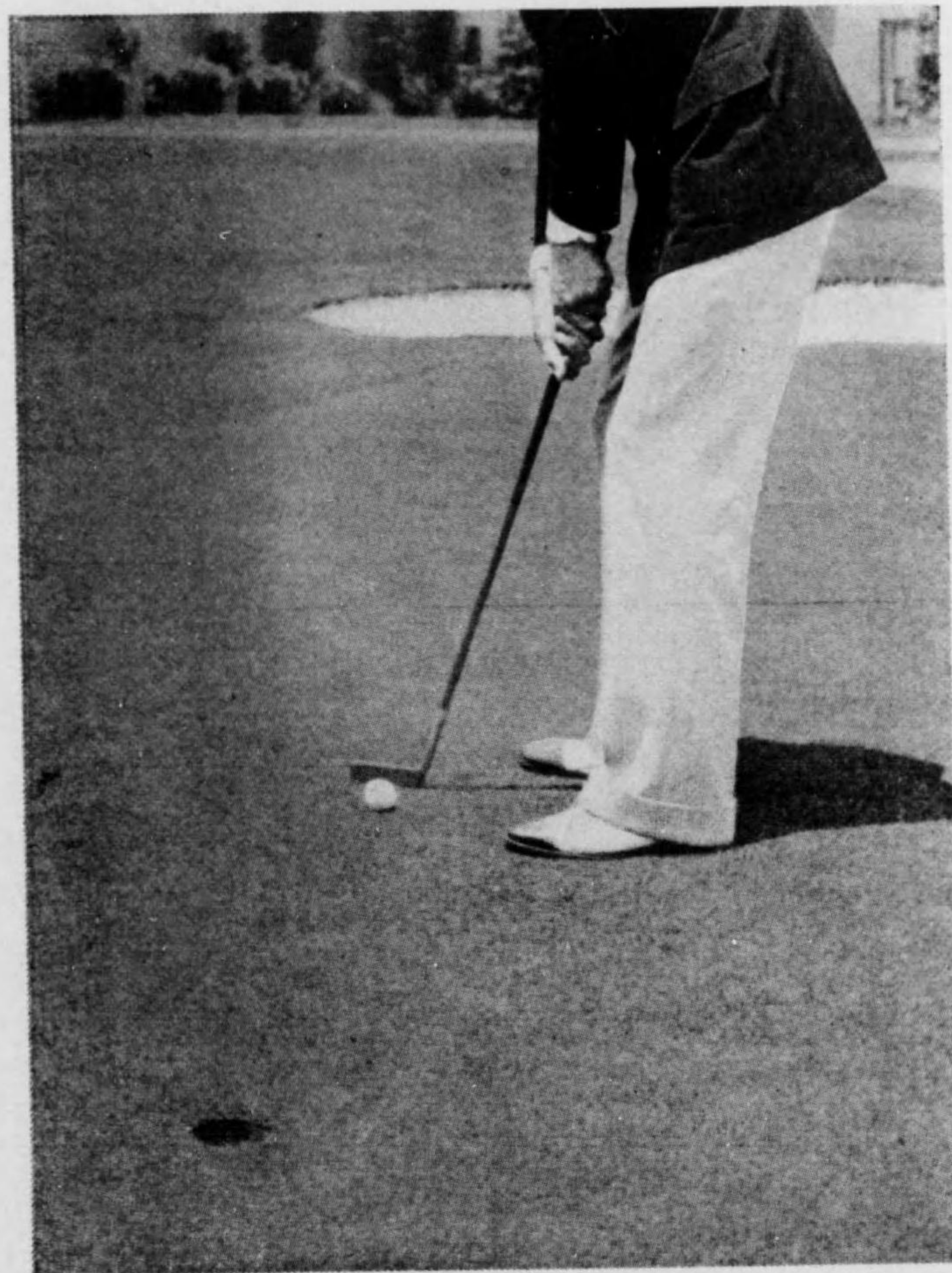
バック・スイング。プレイヤーはストロークするためパッターを前に引く。パッターのブレイドを斜にし、
 たり上へ上げたりしないことに注意せよ。但し地面をかすめるだけである。足、腰、背及び手の角度は不變。



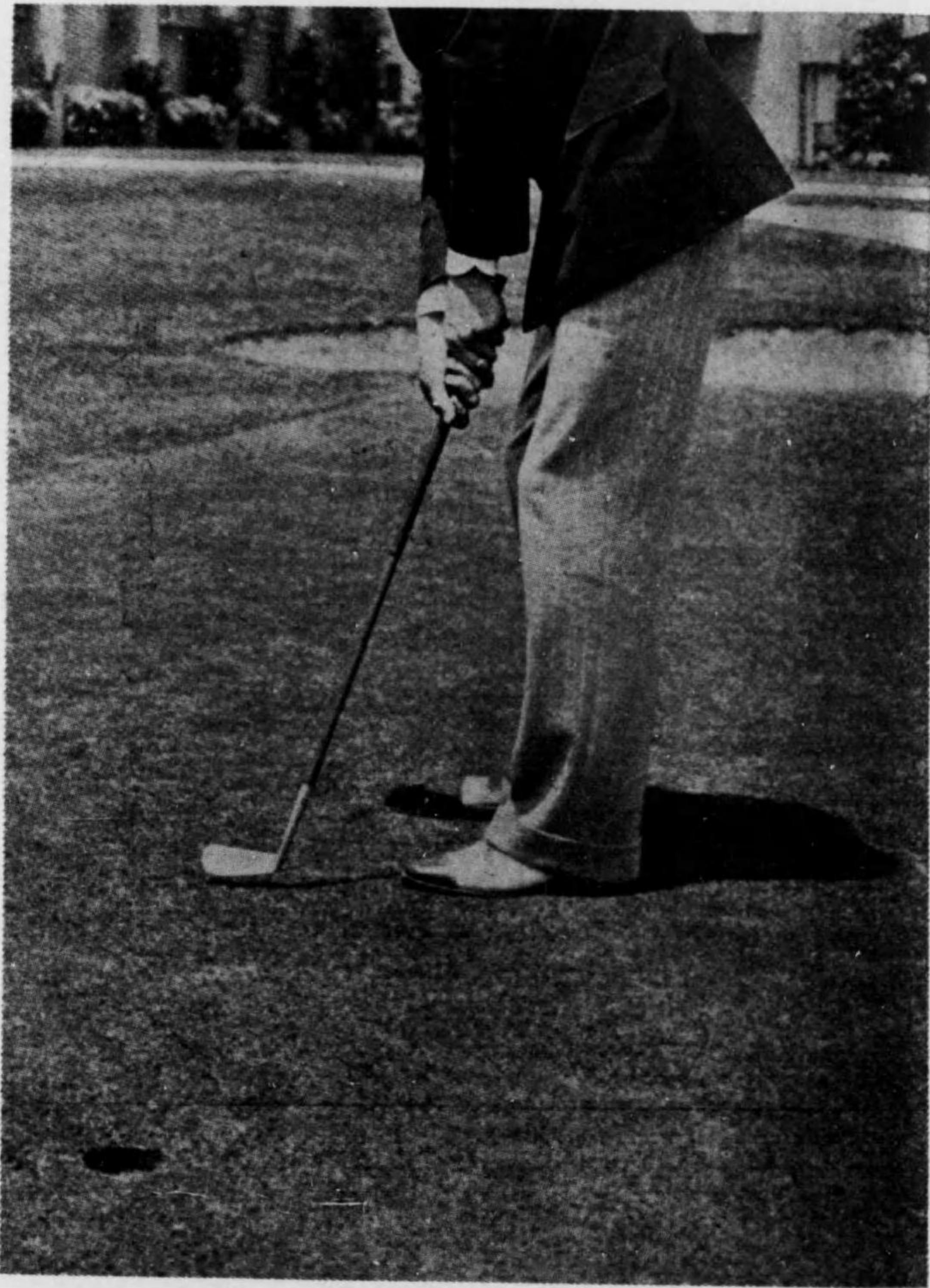
球に向ふ。足元が一直線上にある事、パッターのブレイドが地上と直角をなすこと——前後に傾いて居
 ない事に注意あれ。スタンスが楽な様にプレイヤーは充分に前に寄り寄つてゐる。オーヴァラッピング・フ
 リップは用右手の小指が左手の人差指の間に重なる。左親指は右手の掌に固着してゐる。



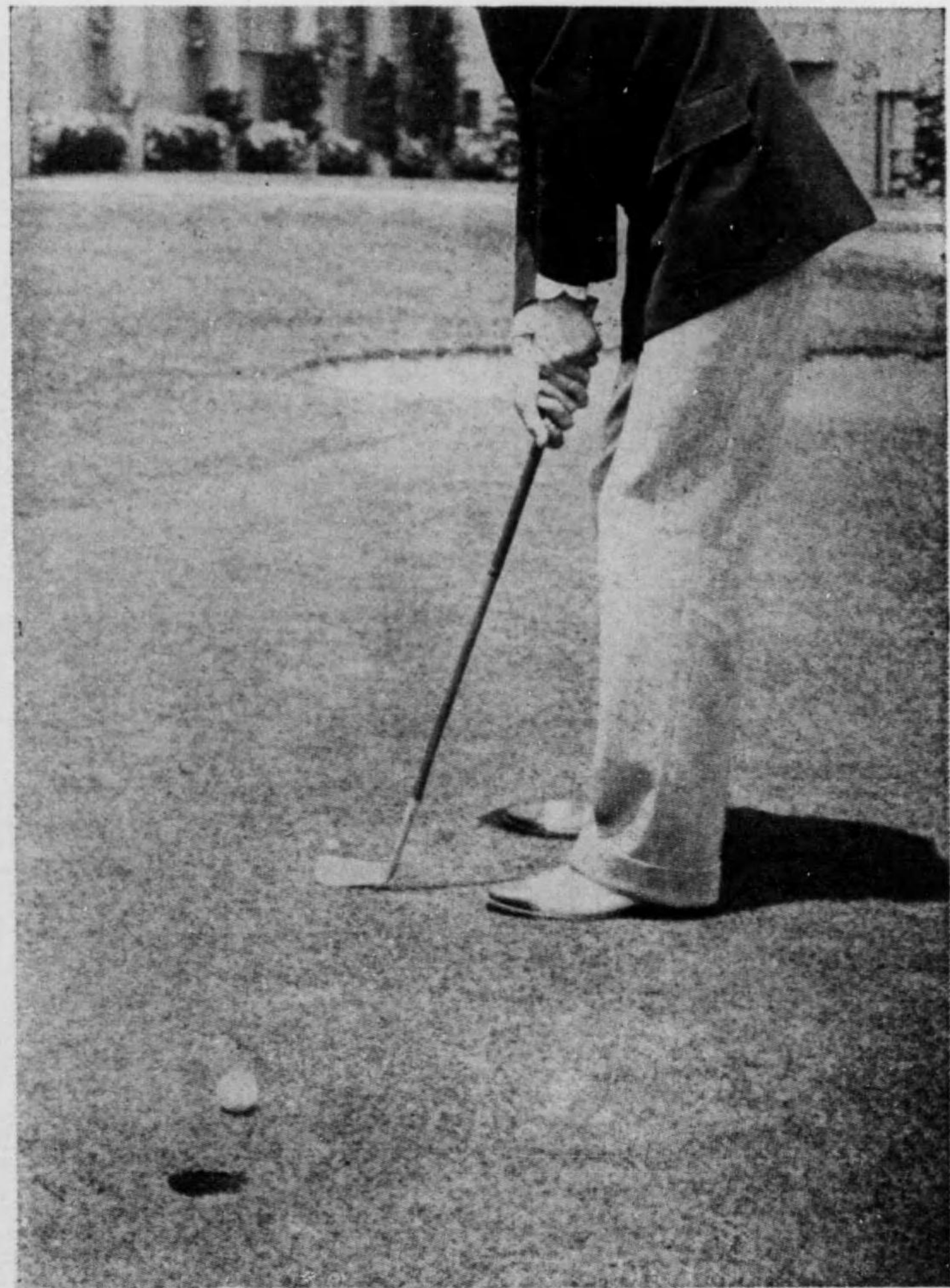
球が轉げてゐる。バッターは最初の位置よりやゝ中央を外れてゐる。以前は兩足先の から前方に引いた線の中心の反對側にあつた。換言すれば、彼は追ひ續けてゐる——即ちバッターは球を追つてゐる。



球に向つた時と全く同じ状態で今やバッターは球に觸れる。そして球は直ちに轉げ始める。



球は穴に這入った。バッターのブレイドは「追ひ」の頂點に達してゐる。約一時地上から離れてゐる。



バッターは今や左足と對す。之で殆んど六吋——バック・スウイングと同じ長さ——動いて、陥力がなくなり停止した事が分る。

第四章 他の二つの握り方

多くのゴルフ職業選手及び素人の熟練者達は重掛オバーラッピンググリップの握り方を用ひる。之は附屬した寫真中に上から又下から見た所が示してある。此の二つの寫眞は、ロサンゼルス市ウィルシャ通アンバセダア・ホテルの職業ゴルフ選手「スコツテイ」ミラーをモデルとしたものである。アンバセダア・ホテルは數年前より、其廣い敷地内にピッチ・アンド・パット・ゴルフコース——即ち普通ゴルフ・コースを大いに縮めたもの——を經營して來た。第三は連結インタア・ロッキンググリップの握り方である。之は圖に示してない。

オヴァラツピング・グリップやインタア・ロッキング・グリップを用ひる理由は一流選手殊に職業選手の云ふ所に依れば次の如くである。

「身體は連結する必要がある、各々の手足、各々の骨、各々の筋肉と腱はすべて全く一體となつて作用せねばならぬ。」

彼等の云ふ所に依ると、此の事は、手と腕の際には之を固く密着せしむる事によつて最も善く目的を達すると云ふ。

オヴァラツピング・グリップをなすには第一に、左手の一部を右手の内に入れる。右手の小指は左手の人差指の上に重なり、之と平行する。即ち小指は人差指と列んで縦に走る。右手の次の二本の指は左手の人差指に沿うて下り、左親指を超えて延べられる所まで延ばし、適當な個所まで達する。かくして、右手の小指は柄の周圍を捲いて延び、兩手は互に密着する。

オヴァラツピング・グリップとインタアロッキング・グリップとの間には唯、一ヶ所の相異しかない。即ちインタアロッキングに於ては、右手の小指を左手の上に重ねる代りに、小指を左手の最初の二本の指の間に滑り込ませる。此の二つの場合何れも、左親指、右手の掌の中に樂に突き込まれる。

職業選手中の或者は反オヴァラツピングを用ひる、之は左手の第一指が右手の小指の上に重なり、つまりオヴァラツピングの正反對である。此の正反對の持ち方は最も不自然な感じを與へるものであるから、第一流の達人以外には試みてはならない。



自然的グリップを他面から見た所、所謂立派なプレイヤーは之を悪く云ふけれどもミネアポリスのジミー・ジョンストンは之を好んで用ふ。



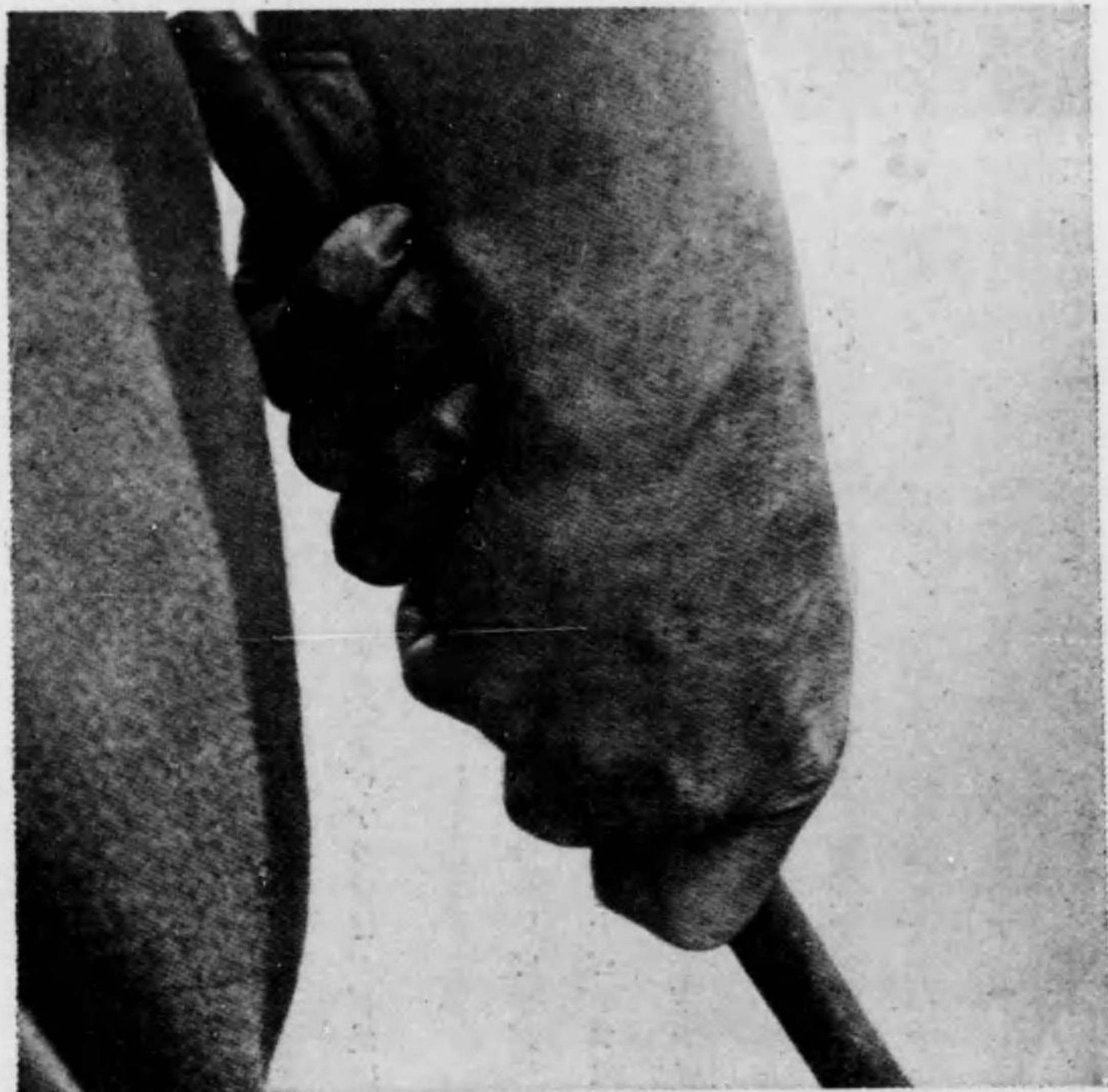
ジミーを諸君が知らないならば云ふが彼は全国アマチュア選手大会がアルモントで一九二九年に開かれたときボビー・ジョンズを破つた男を又破つた男だ。して見ると恐らく此のグリップも餘り馬鹿にならぬ。



カリフォルニア州ロサンゼルス市のアンバセダー・ホテルの職業選手スコティ・ミラーが打球の自然的グリップを示してゐる。両手は列び右手が前方即ち左手より下方にある。



クラブを握る方法の中でどれよりも簡単である。普通ゴルフの職業選手は之を教へるのを嫌ふ。彼等はインタアロッキング又はオーヴラッピングが得意だ。



オウヴァラツピング・グリップを他から見た所、インタアロツキングは右手の小指が左手の第一指と第二指との間に楽に納まつてゐる點が違ふのみである

るゝであら
う。
さて、オ
ウヴァラツ
ピング及び
インタアロ
ツキング・
グリップに
讚成する議
論に就いて
云はう。
経験のあ
る選手達が
バッターを



スコツテイが此處では打球の爲めオウヴァラツピング・グリップを示してゐる。右手の小指が左手の人差指の上に載つた其重なり方に注意せよ。

諸君にお
勧めしたい
と思ふ事は
バッターで
實地に身振
りをし、寫
眞圖を前に
して、もう
一度以上の
記事を読ん
で戴きたい
かくすれば
一層分り易
く納得せら

コースで用ひる際に統一とリズムが必要である事を知つた。オヴァラツピング又はインタアロツキングは此の統一とリズムを與へる。両手の列んだ即ち自然的のグリップが用ひられると、彼等の云ふ所に依れば、各々の手が互に勝手に働くので、せいふく極めて限られた範囲しか使用出来ない。故に打撃の全作用の微妙な均衡が破られる。

さて、誰人が自然的グリップを用ひ、誰人がオヴァラツピング又はインタアロツキングを用ひべきか？

ゴルフを之まで遣つた事のない年取つた男女はオヴァラツピングかインタアロツキングを用ひるが良い。其理由は彼等は多分ミニアチュア・ゴルフから大ゴルフに移るに至るからである。或ひは、少なくとも多く存在してゐるドライヴィング・コースでドライヴァを振るやうになる。

若しも彼等が大ゴルフに赴くならば、職業選手からの教授を必要とする。前に云つたやうに、職業選手は大程ロツキング又はラツピングの握り方^{グリップ}を要求する。だから、此の兩者のグリップの中一つを始めから用ひれば、大ゴルフ場で覚えられない事は先づ少ないだらう。大ゴルフ場で力の強い人々がかゝる握り方をすれば其結果はドライブも中アイアンの打撃も一層眞直に飛ぶ。両手を連結してゐるのでスウィングをする際に全身を正しい位置に保つに大いに都合がよい。

併しながら、ロツク及びラツプ・グリップは競技者の全力を有利に使用せしめない。故に競技者にあまり力がない場合には、距離に影響し、少くとも數ヤードを彼のドライヴから削ぐ。故に子供——後に大ゴルフを學ばんとする者を除いて——及び、普通又はそれ以下の力を持つ婦人は、両手を列べ合せた握り方を以てミニアチュア・コースを試合すべきである。

尙もつと明白に云へば、若し未來の事を考へないで、ミニアチュア・ゴルフを楽しみを目的としてやるならば、自然的に握るが良い——即ち両手を互に列べてやるがよい。其他の握り方は忘れてしまふが良い。

寫眞圖をよく見ればバッターの端から如何ほど離れて両手を握るべきかが判るだらう。それはバッターの長さ及び之を用ひる人の身體構造にかなり左右せられる。かくして打たんとする時の全身の位置が次に問題となる。

肩、頭及び身體の上部は、両手で殆んどその端の方を握つたバッターが樂に地上に達するやうに、やゝ前方に屈むべきである。膝は曲げる。兩膝を相接して全身が半屈みになる程屈げるのでなく、唯それと分る位に曲げる。肩は、すつかり意氣地を無くした様に前方に曲げ込むべきではない。頭の端と圓くなつた脊の側面線とで出來た半圓形が描かれてはならない。唯、圓の一部が

描かれて居ればよい。腰は眞直にし、身體を屈げるのは肩と上方の首及び下方の膝に依つて爲すべきである。

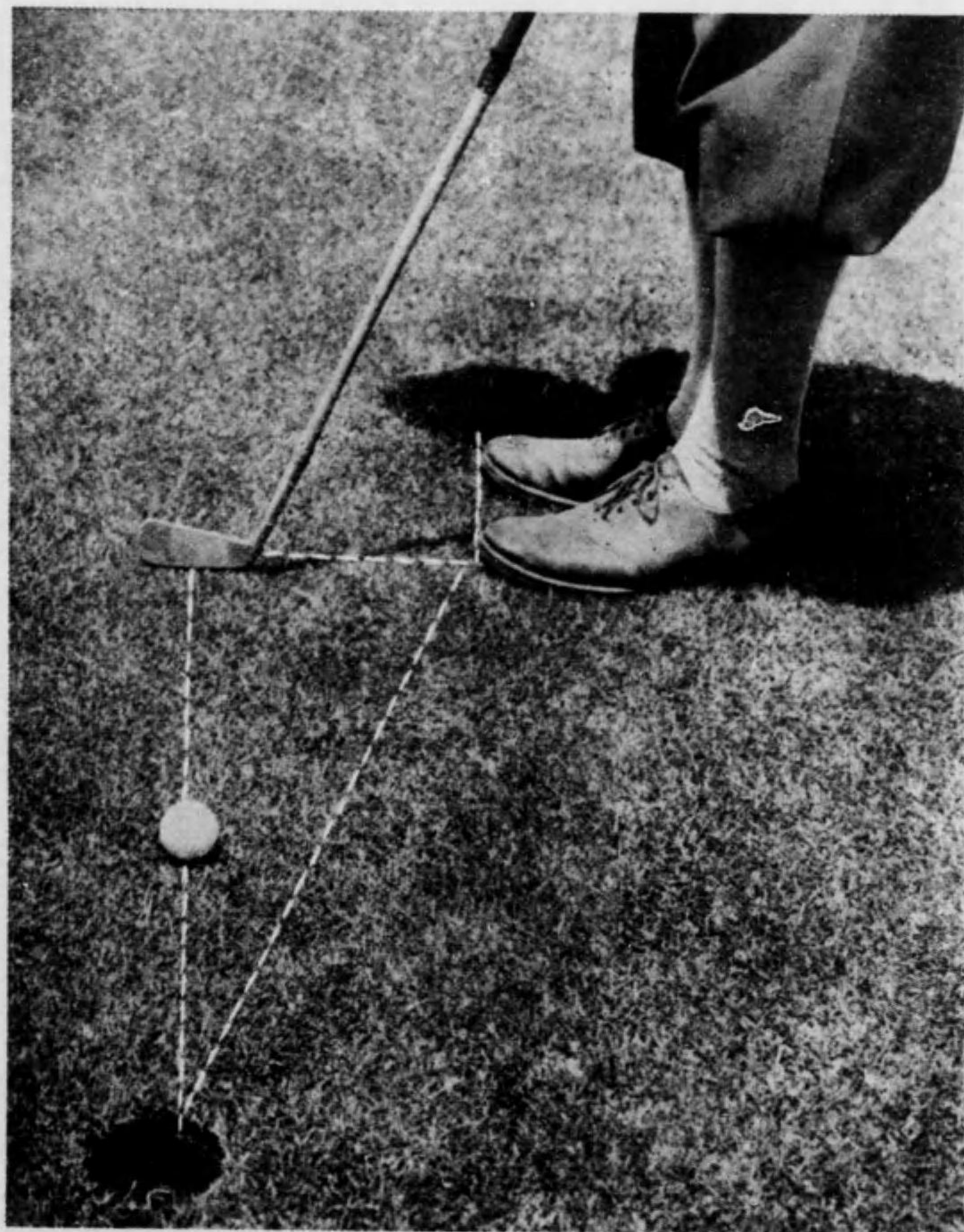


第五章 正しいスタンス

スタンスとは頭、身體、手足の位置、及びボールとホールと關聯して考へるべきバッターの位置を云ふ。クラブの頭部及び足の角度に關係のある身體の姿勢はスタンスに於て重要である。

三種のスタンス即ちスクェヤ、オープン及びクローズの型がある。スクェヤ・スタンスの時には、兩足の足指が一直線に列ぶやうな位置に立つ。足はバッターを突出した方向と同じ方向を指さねばならぬ。決して樂な位置ではない。兩足は一定の間隔を開け、完全に姿勢と平衡を保つて身體を支ふべきである。だから、變な様子で足を踏張つたり、まるで「氣を付け」をする様に兩足を着けてはいけない。

第二のスタンスは恐らくスクェヤ・スタンスと同じ位流行してゐるが、オープン・スタンスと呼ぶ。オープン・スタンスに於ては左足は試合線から少し引かれる。試合線とはバッターの線、



ロサンゼルス市ウイリシヤ大通りにあるアンバセダー・ホテルの職業選手スコティ・ミラーがミニアナ・ゴルフ打球に取つたスクエヤスタンスの圖解。兩足先が一線上にある事、クラブのヘッドの中點、及びホールが又一線上にある事に注意。左足先からクラブのヘッド球の中點、まで、ヘッドから球とホールまで、そして再び足先まで斜線を描き、一體として長く狭い三角形をなす。

ボール及びホールの線である。ホール、ボール及びパッターの線を通してホールの向ふ側から見る者に對して競技者は横顔を向ける事なく、顔の右半面の一部を見せる。

第三のスタンスはクローズド・スタンスと呼ばれてゐるが、此の際には、左足が前方に突出して、右足は引く、故に頭と身體とは右方に向けられる。前の所で述べた線に一人の男が立つとすれば、彼には競技者の左顔全部が見え、右顔は少しも見えない。

何れの場合にせよ、之に應じて身體の位置が變る事は云ふまでもない。スクエヤ・スタンスに於ては兩肩は一直線をなし、左肩はホールの方向を指す。オープン・スタンスでは左肩が引かれ、一直線から離れ、右肩が見られる。クローズド・スタンスでは左肩は前方に突出され、右肩は後方に引かれる。

最後に擧げたクローズド・スタンスは今や上手な競技者の間で用ひられる事が稀になつた。此の位置では少くとも少し無理な、ぎこちない感があり、正確を缺く感がある。或る熟練家は今も之を用ひてゐるが、大勢は既に他の方向に趨いてゐるから、クローズド・スタンスはミニアナチュアゴルフ競技者は用ひてはならない。

ロサンゼルス市アンバセダー・ホテルの職業選手スコツティ・ミラーの姿が此の本の寫眞に載

つてゐるが、之に依ると兩足の相互關係を示すために白線が引いてある。他の線は打撃の其他の要素との關係を示してゐる。私の信ずる所に依れば、スコツティの用ひてゐるスクェヤ・スタンスが最も初心者には實行し易い。何故ならばこのスタンスは又最も無理がないからである。寫眞をよく研究しながら、鏡の前で此の姿勢を練習し給へ。或ひは君の取つた姿勢を幾度も直して呉れる人を見付けてもよい。

諸君がスクェヤ・スタンスを用ふべきか又はオープン・スタンスを用ふべきかは諸君自身によつて左右される。どちらも立派な、いゝ姿勢である。何の考も持たず自然にスタンスを取つて見給へ。球に向ふ姿勢が偶然にもスクェヤだつたら——それで結構である。若し君が平行線より左足を無意識に引くならば、オープン・スタンスが君に適するスタンスである。

だが馬鹿にしてはいけない。其何れを取るにせよ、兩者を混合してはいけない。其姿勢を取る理由即ちバッターの頭を置くべき箇所、足の位置、肩の位置をどう定むべきか、はつきり知らねばならぬ。幾度やつても知らず〜同じ姿勢を取るやうになるまで練習し給へ。決してなるが儘に委すべきでない。

ボールからの距離は君の身長、身體構造、及びクラブと腕の長さによつて決定する。蛇を突刺

す様に遠く離れて立つてもいけないし、さうかと云つて、母親が可愛い、兒を抱く様に、眞上からあまり接近してもいけない。此の場合に、若し脊の高い瘦せた人であれば、彼の鼻がその眞下にあるボールと垂直線をなす様にすれば、結果が良い。

距離を計る他の方法は次の様である。バッターの先端がやつとの事でボールに當る程遠く離れて立つてもいけないし、反對にバッターの踵で打つ程近寄つてもいけない。適當に足の位置を定め、膝を少しく曲げ、頭、首、及び肩を、自分で定めた曲線を描いて(餘り定め過ぎても困るが)曲げ、手を適當に置き、それからバッターの頭を下し給へ。若し君の姿勢が何處も正しいならばバッターの双面の中心は、ホールの中心と一直線上にあるボールの中心の丁度背後にある。

何處の箇所にも痛みを感じたり、無理な所又は不快な感が少しでもあつてはならない。若し諸君が距離が少し遠すぎ、少し釣合を外れて前方に屈み過ぎてゐる感じを抱いたならば、恐らく實際にもさうしてゐるのである。若し諸君が此の場合、數分前に出ないなら、恐らくボールをバッターの先端又は前方の曲り角で打つに違ひない、そして球はホールの右の方へ曲つて飛ぶだらう。

(次の六頁はオープン・スタンスの圖解。)



プレイヤーがパッターを後に曳く。彼女はオウヴアラッピング・グリ
ップを使用してゐる。パッターのブレイドの下部は地上と平行。

43



之はオープン・スタンス。左足は右足の線より軽く後に引かれる。之れ
がオープンとスクェア・スタンスとの相違点の一つ。左膝は少し屈げる。

42



球は打たれ進行中。右から少し身體を寄せたので重みが再び左足に返つた事に注意せよ。

45



尙も、スウィングの頂點まで曳く。左足は軽く内側に傾く。

44



そら——ポトリ——落ちた。善く打つて成功した満足のため右手の人差指が弛んでゐる様子に注意せよ。



球がかなりホールに向つて行進した後に、プレイヤーが少し不安になつた所。右に外れさうな様子、彼女は方向の變るのを助けんと一生懸命に努力しながら兩足を内側に傾けてゐる。

第六章 球を入れる方法

さていよく最も大切なこと即ち打撃の動作に移る。スタンスを定めてから次に諸君の學ぶべき事は、バッター^{プレイヤー}の両面をボールと直角に、ボールの中心と相對して地上に着ける事である。次に、着けたまゝの姿勢で、バッター・ブレイドの中心から球を通りカップの中心に至る線を見給へ。其線に沿うて眼を前後に動かして見給へ、すれば間もなく、其線を充分に呑み込むに違ひない。カップの中へコロリと快い音を立て、轉込むまで球が進まねばならぬ地面の物體の状態を殆んど一つ残らず知る事も出来る。次に、一寸、注意してバッター・ブレイドを擧げ球を越してボールの側の前面に置き給へ。かくすれば此の一直線が増々判然して来る。

線が外部の眼のみならず、心の眼にも印象されたならば、再びバッターを球の後に置^{*}給へ。球が轉がる直線上にびたりとブレイドを置かねばならない。次に球を打つ、其結果は當然穴の中に這入るべきである。

屢々聞かされる事であるが、大試合に於てゴルフ競技者のバッターが思ふやうに動かない事がある。この原因は心の状態及び、緊張又は疲労してゐるために神経と筋肉と眼とを統一して正しく打つ事が出来ないからである。私の経験、又他の人が同じやうな事を云つた所に依ると、日によつてどうしても球を線に沿うて穴に送るべきスタンスを取れない事がある。スタンスが曲つてゐる様な感じがし、いくら努力して見ても正しくする事が出来ない事がある。

又或る日は神経が妙に纏れて横へ打ちたがる傾向を生じ、一打ち毎に、此の傾向を抑へるために努力せねばならぬ事もある。即ち木毬戲をやる人が上手に遣つてゐる事を彼は眞似たくて堪らないのである。一つの隅から球を打ち、かくして通路を對角線に下り、決して中央を眞直に通らない。之は一種の心の變態であつて、正當な打撃に大いに影響する。次の日には之がすつかり消えてしまつて、苦もなく小さな球は溝を轉つてコップに落ち込む。

球を打つ方法だけを書いて一冊の書物にならう。正しく云へばかなり良い品性の試験である。私は打撃の上手な者は人生に成功する素質を持つてゐると思ふ。

競技者は自分の考に左右されてはならぬ。試合に左右され惱される代りに、試合を左右せねば



カリフォルニア州パサディナ東コロラド街一三六番地、コロラド・ゴルフ・倶楽部。第十五ホール。バア。之はくの字形をなし、中央右寄りのズールー族小屋まで十八呎、之から小屋を抜けてホールまで二十八呎。

ならぬ。愉快に、嬉々、

悠々とティーに来る。他か

ら惱される事は少しもな

い。そして心の中には最上

の自信を持つてゐる。彼は

今や拔りなくすべての事を

遣らうと覺悟してゐる。そ

して、易々と確實に正しい

姿勢を取り、線を瞞めパツ

ターの頭を後に退く。

如何なる風にパツターは

歸つて来るか。パアの先端

と踵とは互に相對し、直線

を描いて歸つて來ねばなら

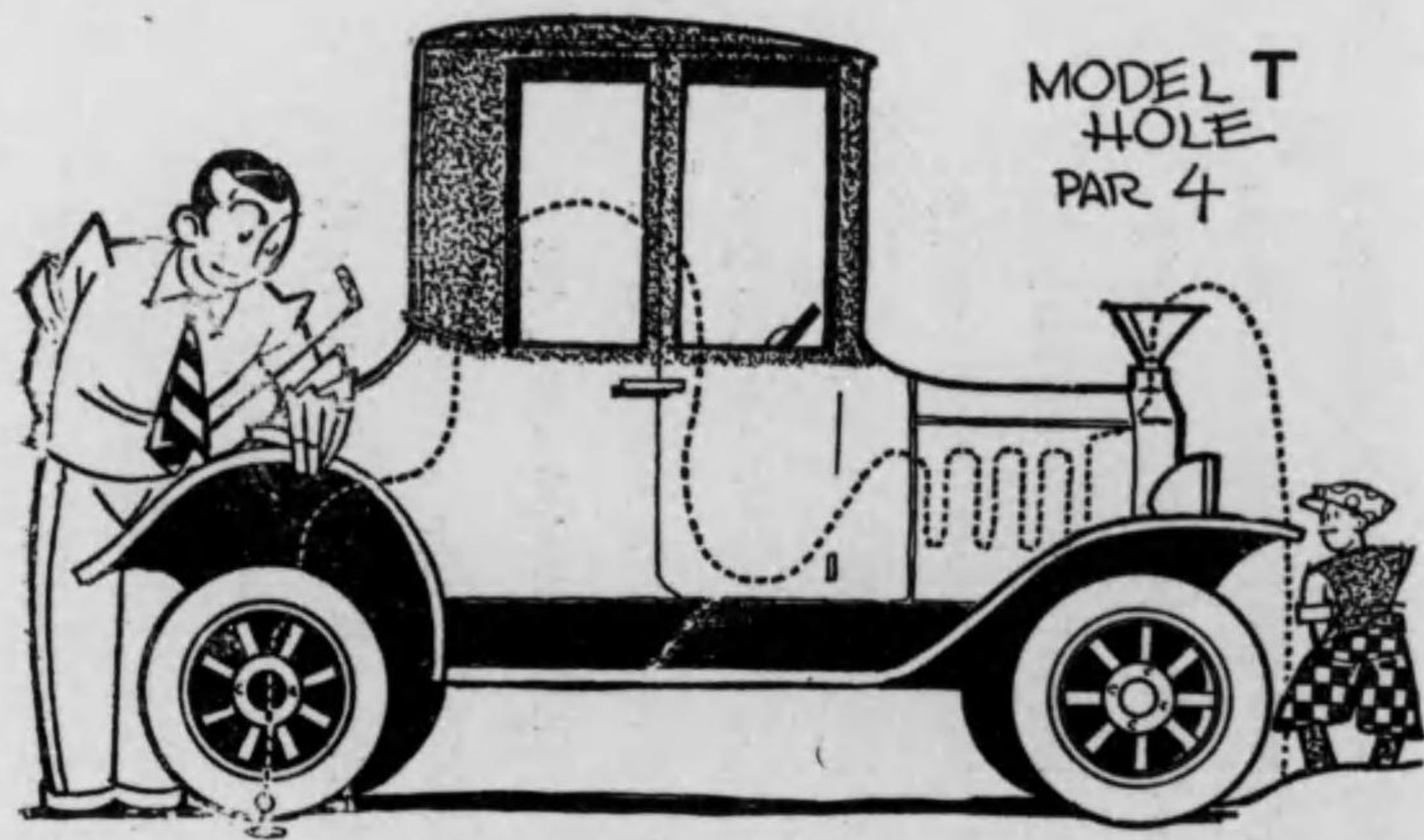
ない。角度を立て、曳きずつてはならぬ。つまり、パツターの柄を手の中で廻してはならぬ。又手や肩を廻してもならない。若し短い打撃ならばパツターを短い距離だけ振り戻す。若しも長い打撃ならばもつと力が必要だから、パツターの頭を振り戻す距離はもつと長くなる。

此の處で屢々悪い間違が起る。競技者はパツターの頭を、何れの打撃にも常に一定の距離約六乃至八インチ程振り戻すといふ悪い習慣に陥る。

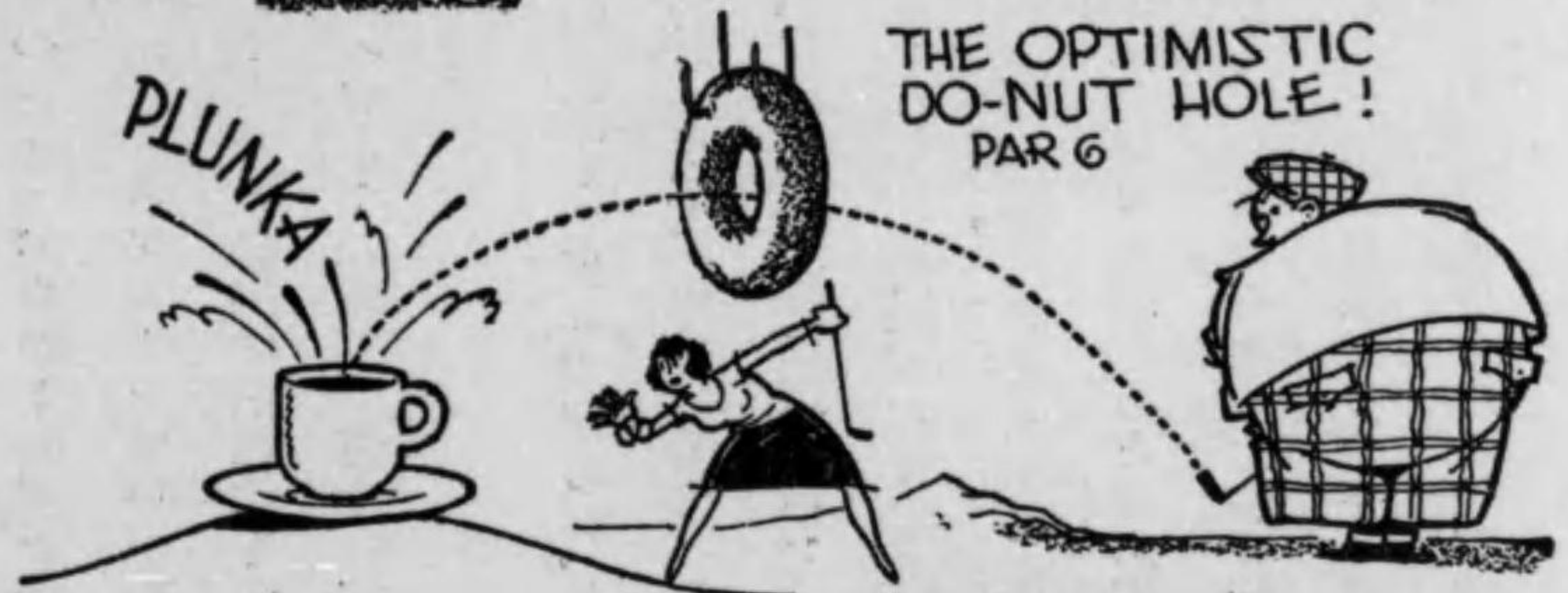
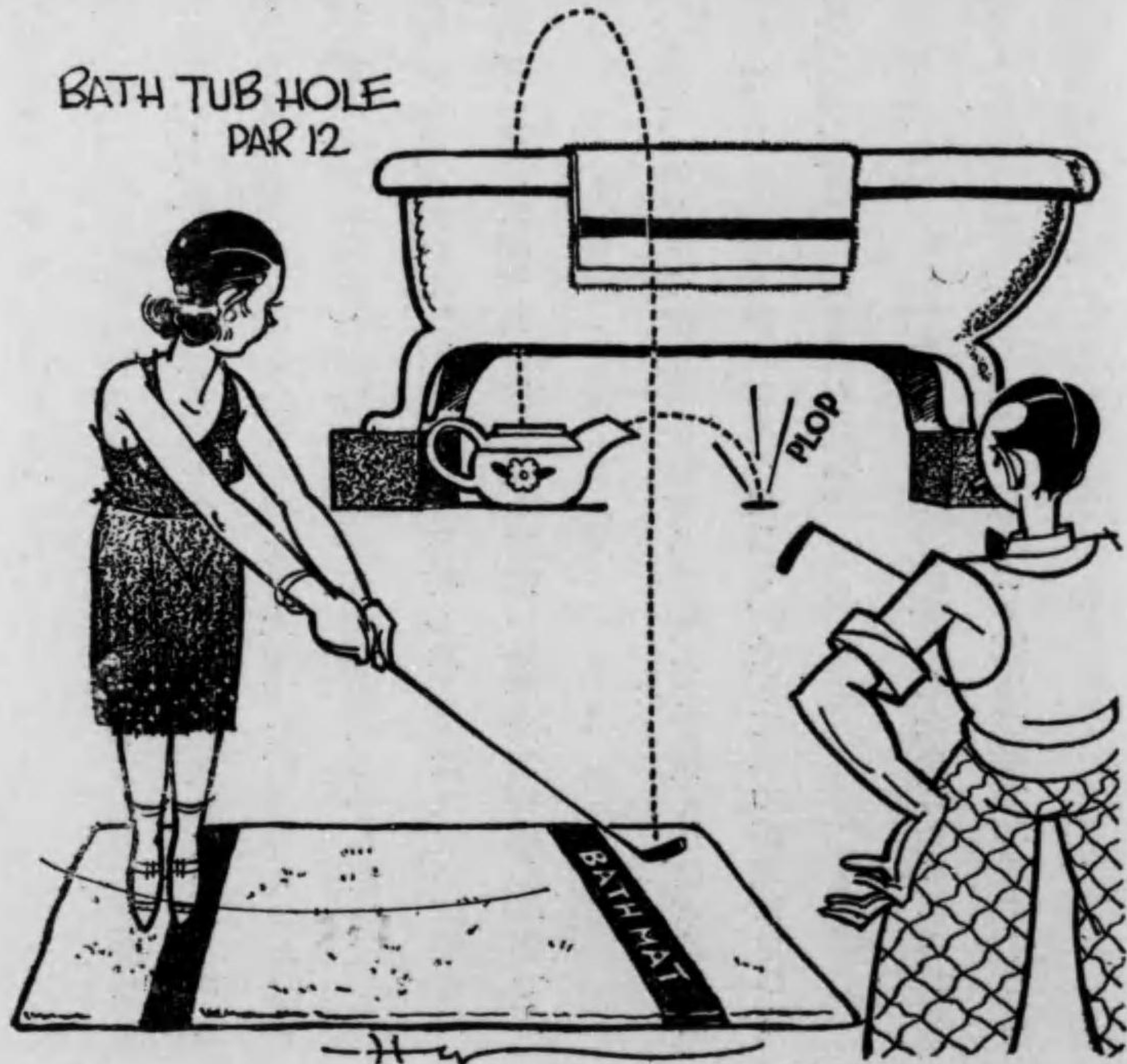
若し長打撃なら、クラブは急がず優美に長く滑かに振り下げられ、そして同じ風に前進せねばならぬ。併し屢々八インチの距離から、彼には長く飛ばすには打撃に力を加へねばならぬといふ考が起る。そこで彼は速く滑かでなく振り戻し、次に短く亂暴に球にボンと當てる。正確さは失はれ、屢々球に當らない事もある。故に後に振り戻す長さは球が到達すべき距離に依つて調節せねばならぬ。

パツターの下の端をバツク・スウィングの時も打撃の時も水平に保つ事に注意し給へ。クラブの頭からの距離を適當に計つて、頭が返つて來るとき高過ぎると云ふ不安な感を抱いたり、又は反對に地面を引搔くの避けるために引擧げねばならぬ様な事を無くせねばならぬ。

理想的なバツク・スウィングはクラブの頭が地面を離れるや否や直ちに運動を起す様に計らねばならぬ。返つて來る途中で頭は球の底でなく、先端でもなく、丁度中央を打たねばならぬ。之



BATH TUB HOLE
PAR 12



を習得するのは困難であるが、是非とも習得する必要がある。

若し諸君が振り降す際に草に摺り當て球の底を打つならば、球は前方にそして上の方に飛び出す、其結果は跳ねて滑かでない轉り方をし、打撃に用ひた力を無駄に浪費させる事になる。そしてカップまで數インチにして止まるかも知れない。若し球の中央より上の方を打つともつと困つた結果になる。上部を打たれた球は滅茶苦茶に轉がるので何處に飛ぶやら誰にも分らない。

さて、愈クラブを如何に球と接觸せしめるかの大問題になる。成功した人々は又よい打撃者になり得る。何故ならば大事業を決行する場合に要すると同じ様な力強い斷乎たる行動が必要であるからである。

立派な打撃者は決心も付かないで來て、バッターが球に接觸する瞬間に力を抜く様な事はしない。彼の決心は爲されてゐる、彼は必要な力の量を前以て考へてゐる、そして其力が球に用ひられる、彼は中途半端に止めてへまな打撃をする様な事はしない。

打球が強いにせよ軽いにせよ、彼は常に球を打つ。彼の打撃には斷乎としたキビキビしさがある。彼は球を押したり擦り付けたりしない。爲すべき事は今の個所より打出す事である——そして彼は事實今の個所より打出すのである。

短打撃はきれいに斷乎としてやれないものと思つてはならない。必ず出来るものであり、又遣らねばならぬものである、——若し立派な試合をしやうとするならば、斷乎たる、又堂々たるプレイをなす一要素は中途半端を避ける事である。熟練したゴルフ競技者は打撃は長すぎるよりも寧ろ短か過ぎるものゝ方が多い事を知つてゐる。競技者の心の中にこんな考が起る——私は轉し過ぎて越えさせてしまふだらう。

其結果として打撃の動作を起してからぐすくし躊躇し、球をきれいに打てず、充分に轉げないで止まる。目標を目掛け給へ。プレイする毎にカップの傍に行くのでなく、中に入れるつもりでやり給へ。之をやるにはカップの脊を目掛け給へ。カップそのものでなく、カップの背後を。かう云つても大した相違はない様に聞えるが、實際は大いに異なるものである。

頭を下に下げ、眼をボールに注ぎ結へ。そして徹底的に打ち給へ。之等三つの事は畢竟するに同一の事に歸する。若し諸君が頭を下げて球を見凝めるならば、打撃は不正確なものにはならぬだらう。此に關聯して一つのよい思付といふのは、球が飛出した後にも、球が置かれてあつた個所を贖める事である。徹底的に打てと云ふのはバッターの頭が球と接觸した後に急に止めてはならぬといふ意味である。

人間の心では何時止むべきか正確には決定できない。徹底的に打つのを避けるつもりで屢々バツター・ブレイドがほんの少し揺れ、球に觸れる瞬間に線を外れて打出す事がある。故にブレイドは球に向つて又球のあつた個所の上を自然的に振り続けねばならぬ。惰力が無くなれば自然に止るだらう。君が止めてはならない。



メーヌホルムを持つコース、
サムコース。西部に於ける最初の、半
「バグラー」丘ホナルに於けるトム
はカリフォルニア州バグラーの

第七章 ゲームを研究せよ

我々アメリカ人は何事でもあれ、すべて正しく遣る事が好きである。そして我々の大部分は、ミニアチュア・ゴルフを遣る時には正しく遣りたいと思ふ。故に小さな事でも、完成への道を辿つてゐるものであるから、研究せねばならない。自分のゲームに就いて考へ給へ、極めて困難な打撃以外の理由で、球を打ち損つたのなら、其原因を探して見給へ。自分自身に云つて見給へ、「さて、何故失敗したのだらう。少し不注意だつたのか知ら。貧弱なスタンスを取つたか。上を見たのだらうか。手際よく球を打つ代りに押したのだらうか。徹底的に打たなかつたらうか。眼及び心を球に向けなくて他の事を考へて居たらうか、あまり打たうとして無暗に緊張してぎこちなくなつたのではないか？」

球を打つまへに一々研究し給へ。あまり近寄つてはいけない。ティーの中央に球を落し之を打

出し給へ。多分今度のホールは油断のならぬものだらう。ティーの中央から真直に打出せばパアになるが、側方から打てばパアを越してしまふだらう。既に上等のコースでは油断のならないハザードを造つてゐる。若し或る種の障碍にぶつゝかつても、合理的に手腕を振つてプレイすればパアとする事が出来る。

併し研究すれば、少し異なつた角度も同じ正確さと、恐らく一層強い打撃を以てすれば、細心に考へ出した電光形の道を通つて、カップに至る事が分る。又堤に囲まれたホールに一定の角度があつて、諸君の使用し得る一定の力を以てプレイすればピンに達するのもある。

若し諸君が行きつけないコースの一々のホールの特色を充分に研究する事が出来ないで、而も其特色を無視して勝たうとするならば、諸君は決して立派な試合選手になれない。

繰返して云ふが——之事こそ人世を造つてゐるものである。我々は習慣といふ舟に乗つて幾ヶ月も又恐らくは幾年も海岸を漂ひ歩く、すると我々が引擧げられて指導者の仲間に加はるために早速の決断を必要とする状態が来る。若し我々が早速に正しく考へる事が出来れば、我々は指導者となる。若し考へる事が不可能ならば下手仲間に落ちる。打撃の原理を會得せよ。さうして上達せよ。



カリフォルニア州ロサンゼルス市ヴァモント街三丁目「エル・パティオ・コース」の第六ホール。パア2。打揚げる高所のティーからホールまでの距離四十九呎。アイアンを用ふべき個所でない、タツターで飛ばす。

多くのコースには「高所」打撃と云ふ物がある、尤も其名は誤まれ易い。ティーが三四呎の高所に造られ、數ヤード先のグリーンに達するために球はかなりの力を以て打出される。私が球が高いティーから「打たれる」と云つた言葉に注意して下さい。かう云ふ必要がある、何故ならば決して打ち揚げではないからである。打ち揚げと云ふ語は球の下方を打つて空中

に飛ばして遠い距離に達せしめやうとする時に用ふるのである。球を打揚げるにはバッターよりも異つたアイアンと異つた打撃が必要である。バッターで球の底を打つて飛ばさんと試みるならば、餘り力を入れ過ぎる事になる、そしてバッターをその使用目的以外の目的に用ひる事になる。

故に此の打撃も他の打撃と全く同様に扱つてプレイし給へ。球を斷乎として、滑かに鋭く、まるで同等の水平面にあるグリーン目掛けて打つゝもりで、ストロークするがよい。高さに數フィート差があるので球は自然に弧を描いてグリーンに達するだらう。

「天成」の打撃者などは決してないから御安心下さい。毎日々々上手に打つ男は、暇な時間を見つけて打撃の練習をするから巧く打てるのである。居間のカーペットの切端、又は裏庭に埋れたトマトの罐がそれだ。全く唯、一にも練習二にも練習三にも練習である。

ミニアチュア・ゴルフ・コースで諸君を容易に負かす男も、若し諸君が彼より一日十五分宛餘計に實地練習を重ねるならば、諸君は彼を打負し得る機會を得るものである。

クラブの「握り」に就いて常に我々が話してゐるのは恐らく、餘り宜しくない。このグリップといふ語はバッターを固く握り締めねばならぬと云ふ感を與へる。かく感じた瞬間に全心の状態

は變化する、何故ならばそこには筋肉や腱を緊張させ、心を不安にしいらくさせる何物かが含まれてゐるからである。我々の顎は固くなり、齒を喰ひ縛り、身體はバイオリンの糸の様に硬直する。

其結果は心が亂れて、精力が靜かに滑かに流れなくなる。他の言葉で云へば、精力が落着いて易々と湧出し我々の全要求



この寫眞は場主に注意するため掲げたもの。カリフォルニア州ロサンゼルス市南ヴァモント街六六九「ハリス・トム・サムコース」に於て唯單に美觀を目的として造られた噴水。他の事物が同一ならば人々は最も愉快な所で遊びたがる。



カリフォルニア州ロサンゼルス市ドッツ・ピコ・グアumontコースに於ける第3ホール。三重グリーンをなす。フェヤウエイは棺の様な形をしてゐる。九十〇呎あり、パアは五つ。先づ最初の打球はトンネルを通過して後第二のグリーンに達せねばならぬ。此處では眞のグリーンに到達するために球を高い障碍物を飛越えてカップに入れねばならぬ。

を豊かに供給する代りに、大きな塊になつて出て来る。故に若し避け得られるならば「握り」と考へないでバッターの「感じ」と考へ給へ。又繰返して云ふと叱られるかも知れないが次の事は忘れない様に願ふ、即ちミニアチュア・ゴルフは無理な苦しい競争でもなく、相手を負さなければ天が落ちるといふわけでもない。それは愉快な事であり、娯楽であり、友情を結び戸外に出る機会を造るものなのである。

ティーに近づく時、かう考へてはならない「彼奴に是非とも勝たねばならぬ」。反対にかう考へ給へ「彼を負し得るのは勿論だが、負さなくても少しも構はないぢやないか。」

第八章 諸君の期待すべき事

ミニアチュア・ゴルフは之を書いて居る今、盛んに流行してゐる所の、人の心を魅するスポーツである。新しいコースが續々と全國中に建てられてゐる。コースは恐ろしい速度を以て増加してゐる。他の方面で成功した人々が争つて之に集まり、此處でも又成功するであらう。平凡な生活と貧乏との間をさまよつた事のある人々も参加して来る、彼等は此の事に於てもやはり間諛付くだらう。第三の階級は何時まで経つても不相變の失敗者達で此處でもやはり失敗者になるだらう。

此のゲームは眞に人の心を引き付けるからアメリカ生活になくてならぬ物になるであらうと思ふ。之は既に述べた所である。併しどんな範圍に残るか主としてコースの場主により決定される。若し馬鹿な場主が取除けられ、わけの分つた場主が直ちに支配する事になればミニアチュア

ゴルフの魅力に未だ捕へられて居ない子供や両親達も引き付けられるだらう。現在其可能性ありと認められるよりもつと多數のコースが必要となり、後まで残るだらう。何故かといへば場主は其事業を失敗させる事も出来れば成功させる事も出来る。若し場主が快く待遇すれば、無数のミニアチュア・ゴルフのファンが絶えず集まつて来るだらう。場主が馬鹿で酷い待遇をすればコースは枯葉の様に衰亡してしまふ。だから諸君は一定の根本的な事を要求し又期待する権利がある。諸君の屢々通ふコースは嚴重な規則の守られてゐる所でなければならぬ。附添のない子供達や少女達が安全に、又両親の衷心からの賛成を得て行き得る所でなければならぬ。

長く存続するコースは、丁寧な愉快な管理人によつて護られるであらう。場主及び支配人達は善い商人でなければならぬ。そして何れの階級、老若男女を問はずすべての人々に氣に入る競技試合を催す。之等の競技は公平に催され、價值のある賞品が勝つた人に授けられる。之等の場主はコース内及び市内競技を始める。彼等は顧客の嗜好の變化によく注意し、古いハザアドが倦きられると新しいのを設ける。

彼等はコースを美しく飾り、灌木や樹木や花を植えて運動を刺戟するものとする。又日傘や安樂椅子を設備する。コースは輝かしく手際よく照され、従つて好きな時間に、一ラウンドか二ラ

ウインド位は遣れる様にする。

各コースには化粧道具、軽い飲物、キャンデー、電話室、勘定場、又自分のバターを其後に残しておきたい時に鏡を掛けて藏つて置くバター掛けなどが設備される。何れのコースに於ても亂暴は許されない、又無頼漢の巢になつてはならない。

場主と支配人は自尊心を持つてゐる。彼等は立派な價值ある事業に携つてゐる——現在でも同様だが——と考へ、近所の都市事業にも参加する。

コースに傭はれた男、又はコースを經營する男は毎朝顔を剃る——現在では剃らない場主もある。彼等は禮儀正しく装ひ、ネクタイとカラとを附ける——尤も現在では附けない連中もあるが。支配人達は多くの人を傭つてコースを最上の状態に保ち得る様にする。既に現在でも數週間の中に或るコースは見すばらしくなり、注意されなくなつてゐる。

場主や支配人はすべて、コースを遣つてゐる連中を何處でもよく言ふ。現在では未だ悪口を云ふ者が多い。彼等は多くの娛樂雜誌とか或ひはゲーム改善の方法を教へる所の、善く書かれた信賴すべき本を具へて置く。

之を要するに、彼等は彼等の投資せる家屋、乾物店、立派な店又は百貨店に就いてと同じ位の時

間、思慮、及び努力をミニチュア・ゴルフ・コースにも捧げる様になるだらう。即ち若し諸君がそれを望む様子をせば、彼等は其通りにするだらう。コースと其經營は諸君が要求し期待する程度だけ善くなるのであつて、決して其程度以上に善くなる事はない。數年間の中に一軒のホット・ドツグを賣る松板細工の店を市内で一流の料理屋に變じた男が云つた「下らない商賣でも相應に努力すればどんなにでも立派なものに押上げる事が出来る。反對に、世界一の商賣も毫無しにする事も出来る。」

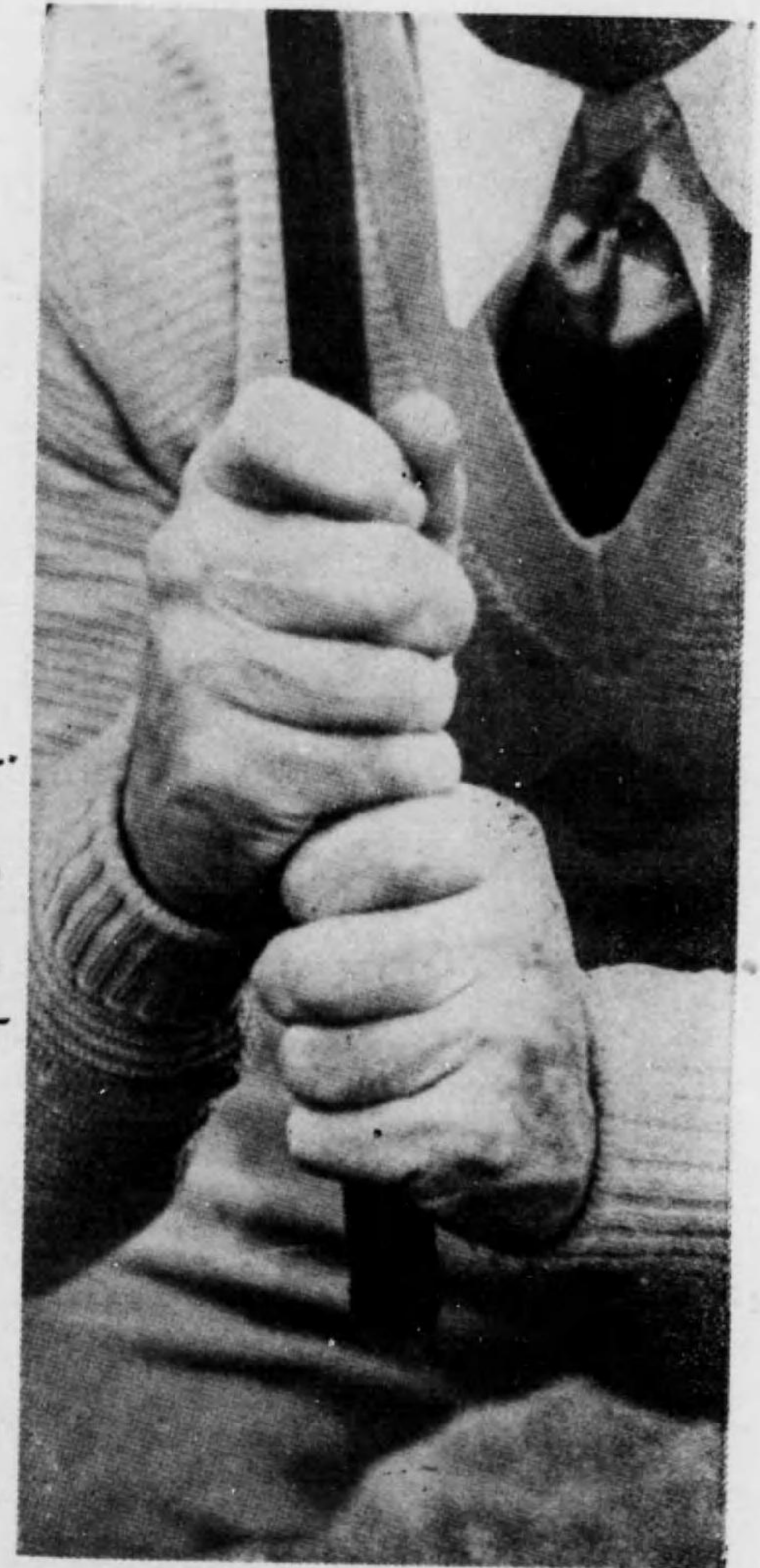
ミニチュア・ゴルフ・コースは本來如何に經營さる可きかに就いて私の考へを大體示しながら、私は此の章をファンの爲に書いた。併し私は、場主や支配人が之を読んで心に忘れないやうにと秘かに願つてゐる。若し彼等が望むならば、此の中から随分價值のある事を多く引き出す事が出来るのである。



之により立派な選手が如何なる風にクラブを握るかが分る(勿論右のと同じグリップ)



決してビクビクして居ない、正しく、しっかりとした堂々たるグリップ。



此れは自然的グリップの他の端を上にして見た所。左手は約二時クラブの端から離れてゐる。



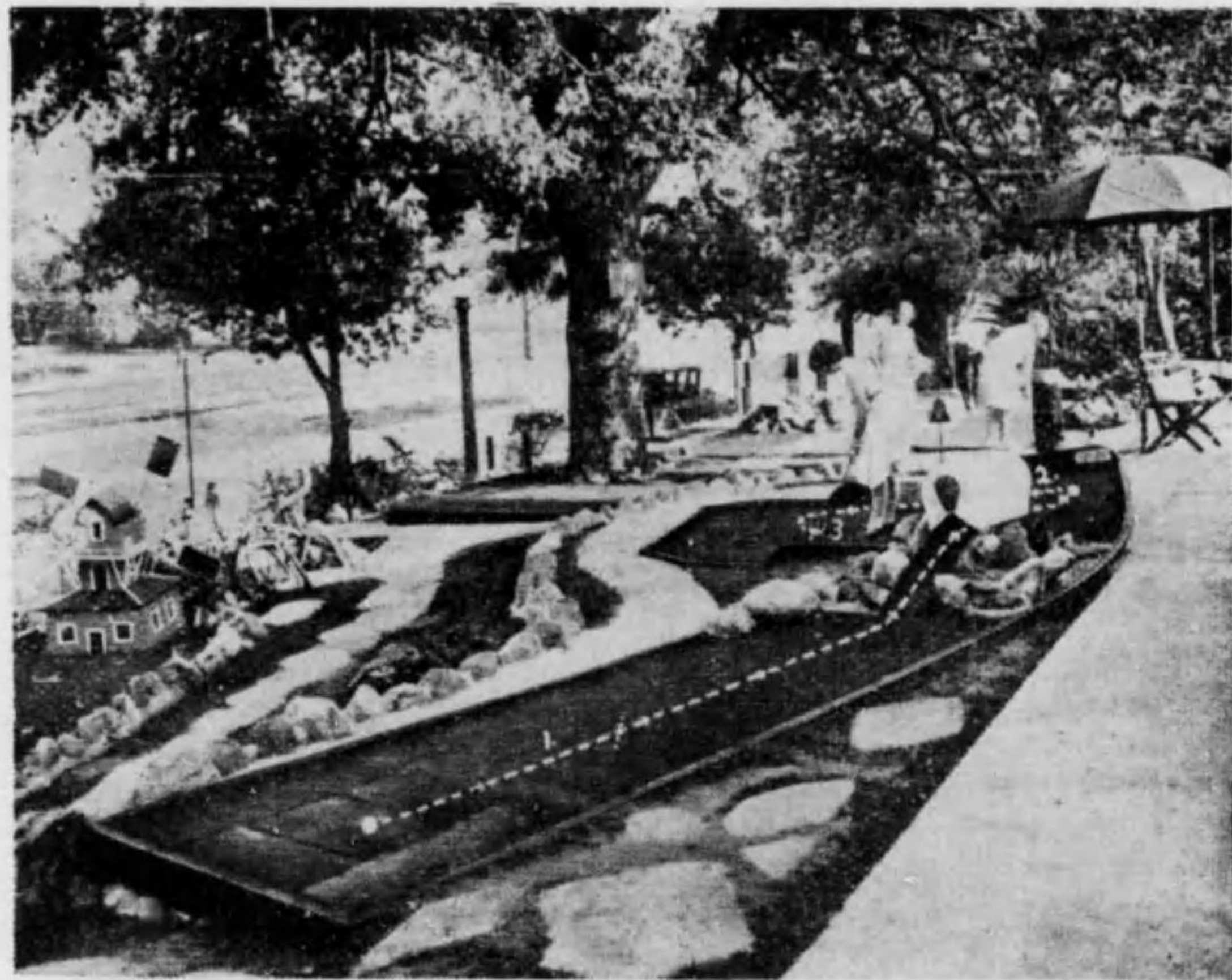
左手が気持ちよく右手に納つて居る様子を見よ。

第九章 ゲームの規則

大抵のミニアチュア・ゴルフ・コースの規則は點取カードに印刷されており、その規則は簡單で數も僅かである。其規則中の或者が暗示する所に依ると若しペアかフォサムが遣れるならば、心の傾いてゐる人々を引付け、次第に徹底的にやつて見たいと思はせるに至るであらう。

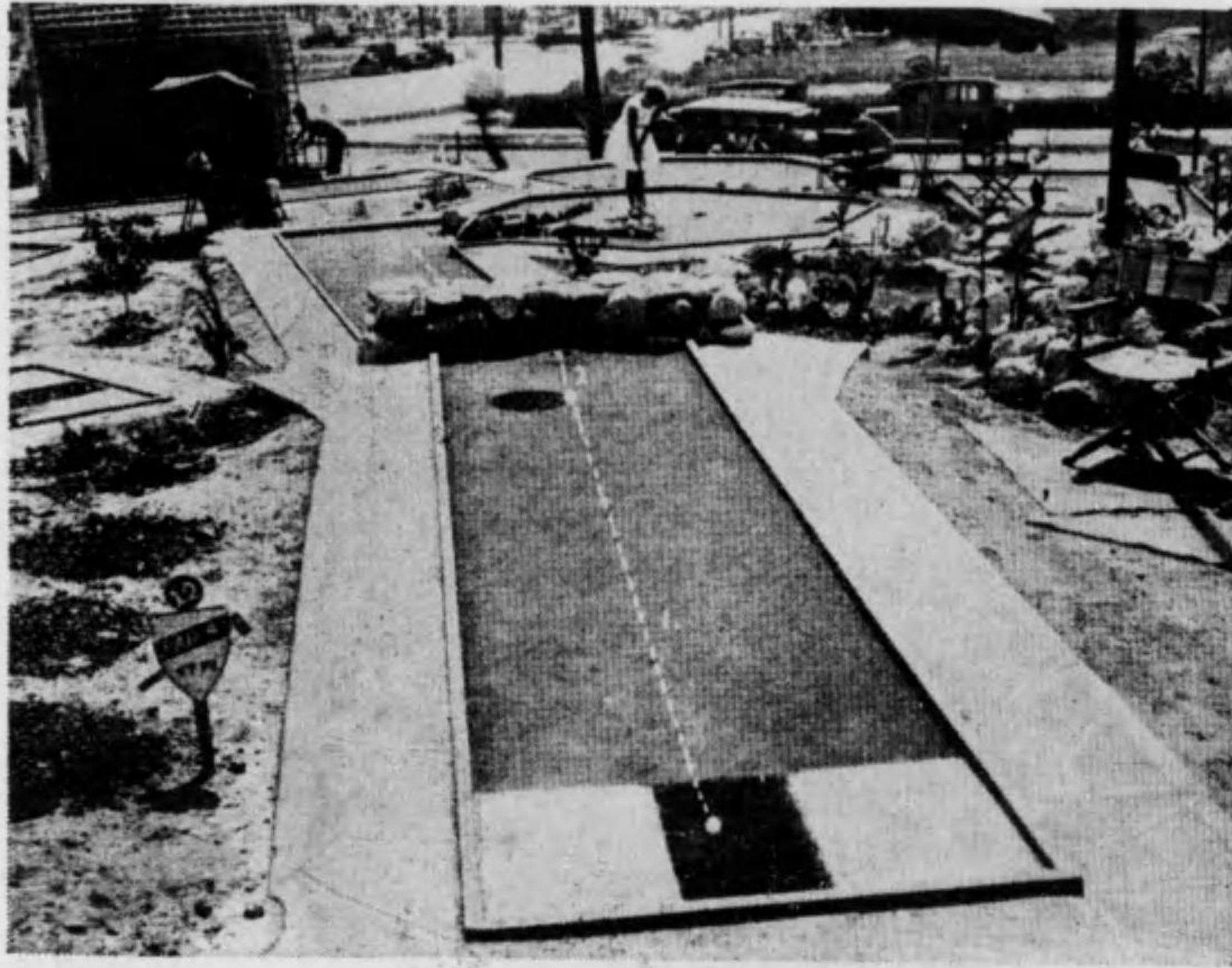
大程の場合、十八ホールが一つのゲームを形成し、競技者は第十八の番號の終りにバターを收める様に定められてゐる。或るコースでは普通の十八ホールに附加して九ツのホールのコースがあり、之は特別料金を取らないでプレイさせる所もある。此の九ホールコースではカップが小さくて距離が短くなつて居る、併しハザードは巧妙な仕掛になつてゐるので此のコースは仲々難かし。

或る障碍を超えて進まうとしても不成功に終る場合に、其回数をおるコースでは四回、又或る



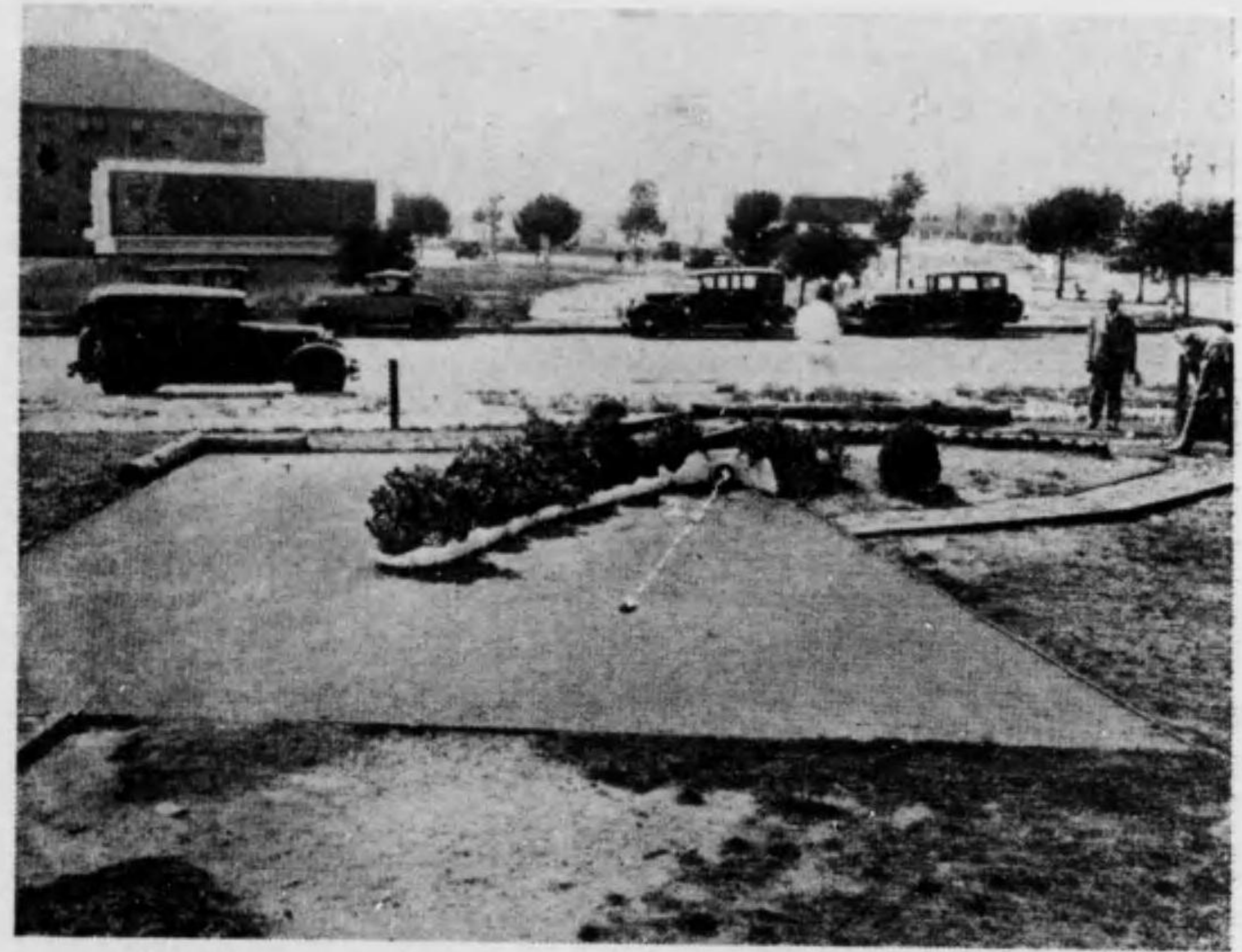
珍奇なコースは人を多く牽き寄せる。之はチキタである。カリフォルニア州南カサディナ、フェヤオーク街一〇三七番の立派な住宅地を三方から取圍んでゐる。其趣好は幌馬車である。パークの第二ホールに於て、小さな幌馬車を通して、二十五呎離れてゐる「フック」ホールをねらひ打球する。他のフェヤウェイには眞物の羚羊の蹄や前肢が地上に打ち建てられ、ハザードをなしてゐる。其他頑丈な古い幌馬車の車輪の半分が地上に眞直に立てられ、轂を透して球を通過させる様になつたのもある。尙又所謂「ウオター」ホールと云ふのは白い骨が一面に散在してゐる物凄しい荒地となつてゐる。

コースでは五回を制限としてゐる。失敗の時には球は拾ひ上げられ次のハザードに向ふが但しストローク二本を餘計に書き加へねばならぬ。自由に打撃するのを魔邪する縁レールや其他の邪魔物がある時には六インチ程離してよい。併し決してホ



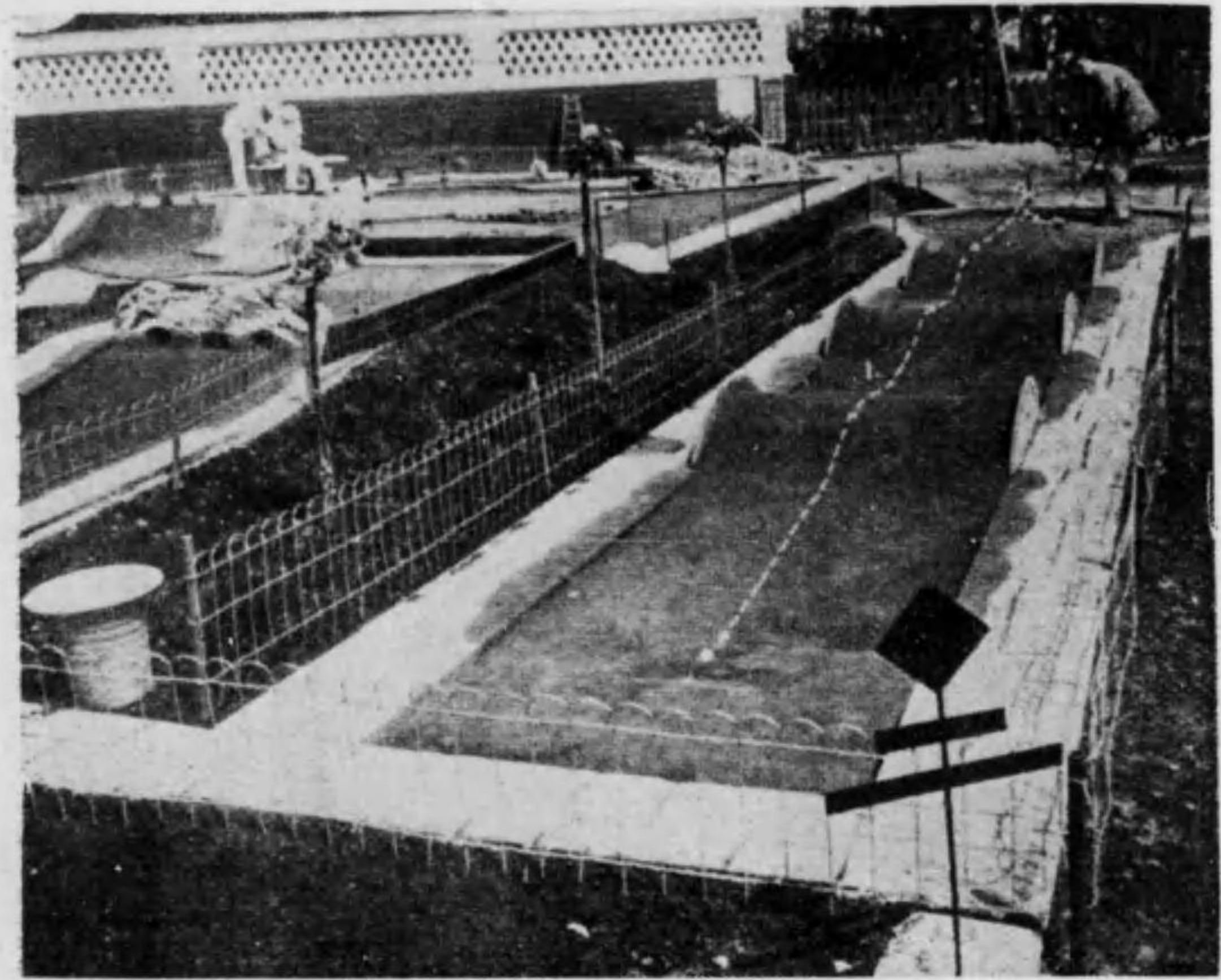
カリフォルニア州ロサンゼルス市第十三番街の「ウエストアダムス・ミニチュア・ゴルフ・コース」は種々な高さに設備され、美しく同時に困難である。第十三ホール、バア4、長さ四十七呎。次いでながら、「2」と数字を書いた傍に圓い形が見えるが決してホールではない。電燈の球の影である。

若し球が餘りに強
過ぎる打撃のために
境の外に飛出した場
合には、大低のコー
スでは次の様に定め
てゐる。即ちストロ
ーク一本を罰則とし
て球が飛出した個所
の對照點なるグリー
ンの上か又はフェア
ウェイに球を戻す
事。
競技者は打撃の場
合を除く外はコース



之はカリフォルニア州、ロサンゼルス市ウィルシヤ大通り、六〇六〇番地の、特別コースの一種、ポップ・オ・リンクのホール。ウィルシヤの如き世界第一の貴族的な美しい大通りできへ、この小さな競争に熱中し始めた。此のホールは若し下手に打球するとGの字形になり巧く成功する時にはくの字形になる。最大距離四十五呎。

ールに近づけてはなら
ない、離すために動かして
も罰則は無い。
大程のコースではグリ
ーンが木かコンクリート
の境で圍まれて球が圍の
外に出るのを邪げる。併
しながら、もつと注意深
い打撃を要求してゐる一
コースでは少くとも、若
し球が或るグリーンを圍
む境に觸れたならば點取
表に一ストローク餘分に
附加へねばならぬ。



カリフォルニア州、ロサンゼルス市オレンジ街ウイシヤ大通りの「オウル・アメリカン・コース」第十三ホール、バア2。このホールは滑かに打球せねばならぬ、さもないとあの隆起のために進路の上を飛ぶ。又力を入れて打たねばならぬ、さもないとグリーンに達しない。距離は三十五呎。各の隆起は高さ約八吋幅二十四吋。

のあたりの歩道に居る事は一般に定められてゐる。フェアウェイ又はグリーンの上にマツチ、煙草を落すのは禁止されてゐる。

種々の材料がグリーン及びフェアウェイに用ひられてゐる。或る特許コースでは綿の實の殻を緑の塗料と油を混ぜて用ひてゐる。かくすると芝生によく似た固くてしかも弾力に

富む表面が出来る。此の様なコースでは高い踵の靴を履いた婦人は倶楽部會館の草履を付ける事を要求される、それは其尖つた端が表面を貫き凸凹にするのを防ぐためである。

又他のコースではコンクリートの上をフェルト或ひは類似の材料を以て被ひ、グリーンやフェアウェイを造つてあるので高い踵を被ふ物は此處では必要でない。

コースに人が大勢集つた時に止むを得ず適用される規則は何れのハザードホールも再び繰返してプレイせぬ事、何故ならば繰返すと後から續いて来る人々を待たせてしまふからである。

或るコースでは十歳以下の子供は両親又は其他の大人が附添つて居ない限りコースで試合するを斷ると定めてゐる。勿論、競技したくて仕方のない子供の鋭い智慧は此の規則の裏を搔く。年齢の足らぬ、併し競技する金のある子供達はコースのあたりをうろつき廻つて大人に云ふ「どうぞ此回だけ貴方の子供にして下さい、ね」そして彼等は「養子」となる。

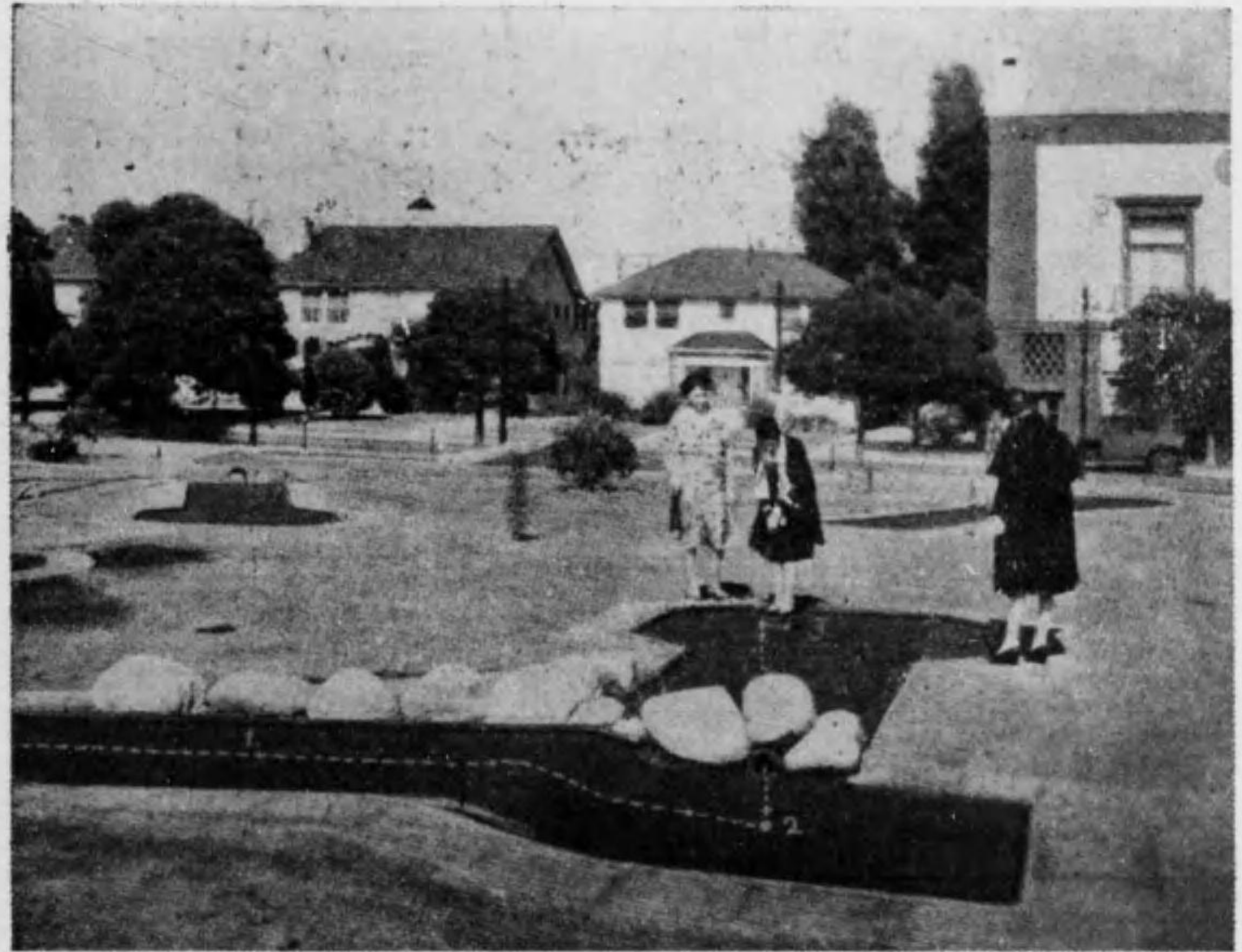
あるコースでは眞の芝の高い臺の上に用ひてゐる。或るトムサム式コースでは之等の高い臺の上に登る事を競技者に要求してゐる。さうすれば競技するコンディションは一層都合よくなる。

多くの場主は其規則綱領を終へるに當つて經營に對する積極的批評は何時にても歓迎と云つて結んで居る。それはいゝが、唯「積極的」がいけない。ゲームが新しく、近くの者にさへ缺點



之はロサンゼルス市アレキサンドリヤ六三番「チャップマン・パーク・コース」の第十四ホール。陥穽が内にある。バアなる三打にて達せんとするならば白線に従つて遣り給へ。二打にて達せんとするならば外側の杭と境界との間に打球し給へ。すると巧く屈折して一打でグリーンに達する——若し諸君に之が出来れば。

イスの規則は次の様である。手で都合よく取れなかつたら網を以て球を水から挙げる。罰はストローク一本。
 スタイミイは禁止。
 スタイミイとは一競技者の球が相手よりもつとホールから遠い場合に、六吋以上離れて居て而も遠い球とホールとの線上に臨んでゐるも一人の競技者の球に邪げられてホールに打



カリフォルニア州ロサンゼルス市オックスフォード三丁目の「ベターオール」の第五ホール。バア3。ティーは左側にあつて寫眞には見えないが三十五呎離れ、カップに達するには一度くの字に曲リトンネルを一つ通過せねばならぬ。正確な打球が必要。

が見えないのであるから、いかなる批評も悉く歓迎す可きである。
 屢々批評といふものは馬鹿々々しく聞え、わけの分らぬものと思はれるが、實際に正すべき事情に注意を呼んでゐる事も少なくない。
 水のハザードがどんどん増加してミニアチュアにも加へられた。殆んどあらゆるコ

込む事が出来ないのを云ふ。ホールに近い者から先づ球を打つ事。

大ゴルフ・ゲーム規則に於ては遠い方の球を先づ第一に打つ事を要求するので都合が大變に悪い。遠い方の競技者は打飛ばして機會の至るを待たねばならぬ。若しその競技者が「イングリツシュ」を球に用ひて、邪魔をしてゐる球を避けて先廻りをし得れば結構である。さもなければ片側で安全なプレイをして、球をホール近くに打つて寄せねばならぬ、又は邪魔をしてゐる球に打當てゝカツプに落して自分の機會を握らねばならぬ。

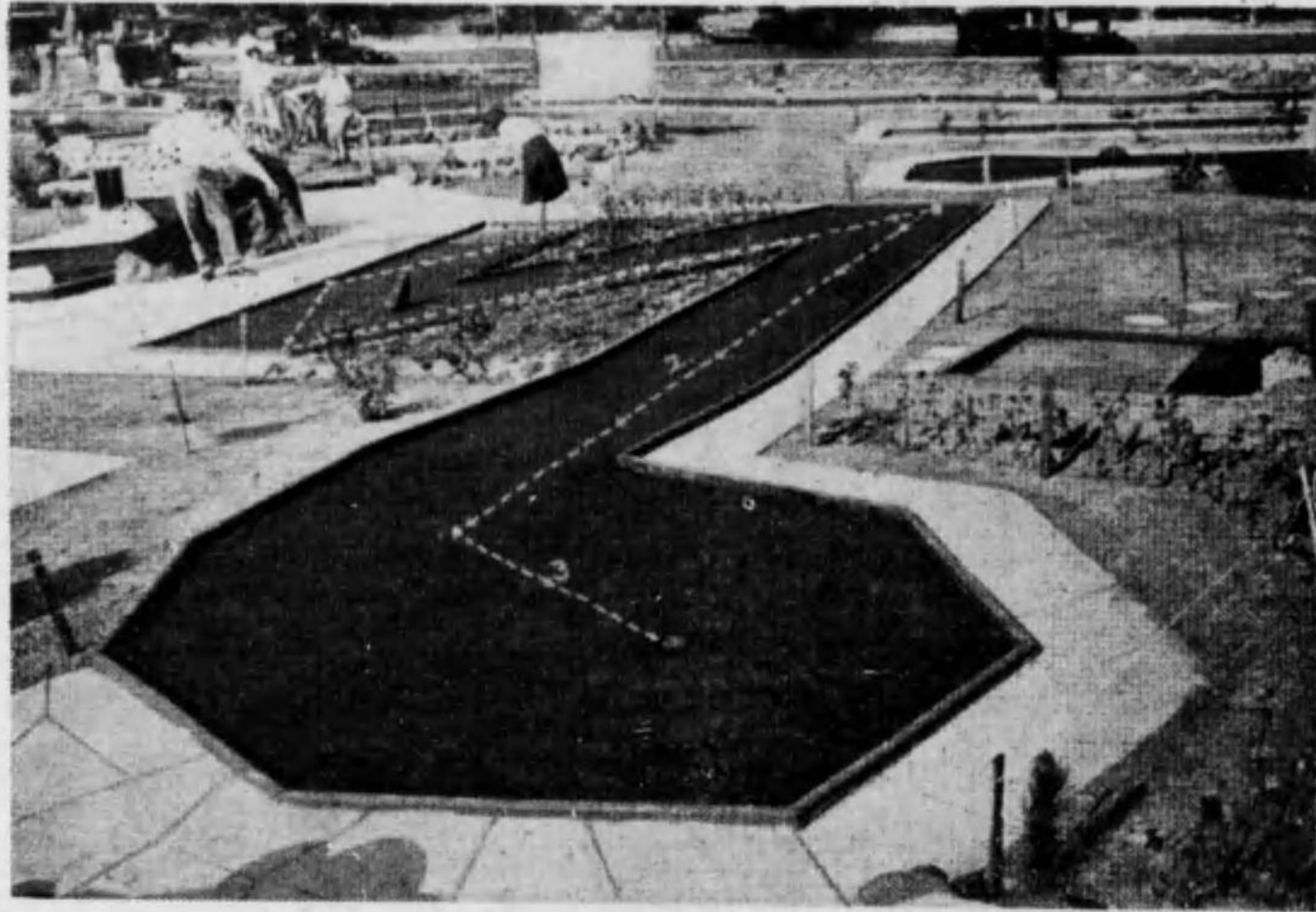
ミニアチュア・コースに於てはホールの邪魔をしてゐる球を持つ競技者が先づ打たねばならぬ。地方々々のコンディションに従つて造られた其他の規則は色々なコースに依つて採用されてゐる。

第十章 コース上の禮儀

ミニアチュア・ゴルフ・ゲームの規則はすべての競技者が同等に試合し之を樂む機會を與へるために造られたのである。其規則は、一般に通ずる共通的な規則は勿論、特別なコースの特殊規則に至るまで試合を始める前に一同よく心得て置くべきものである。

ミニアチュア・コースに於て競技者間に大切な事は禮儀である。若し我々が自動車を驅つてゐる時に或る人々が示すと同じやうな失禮な態度を取るならば、此のゲームは急速に絶滅してしまふだらう。

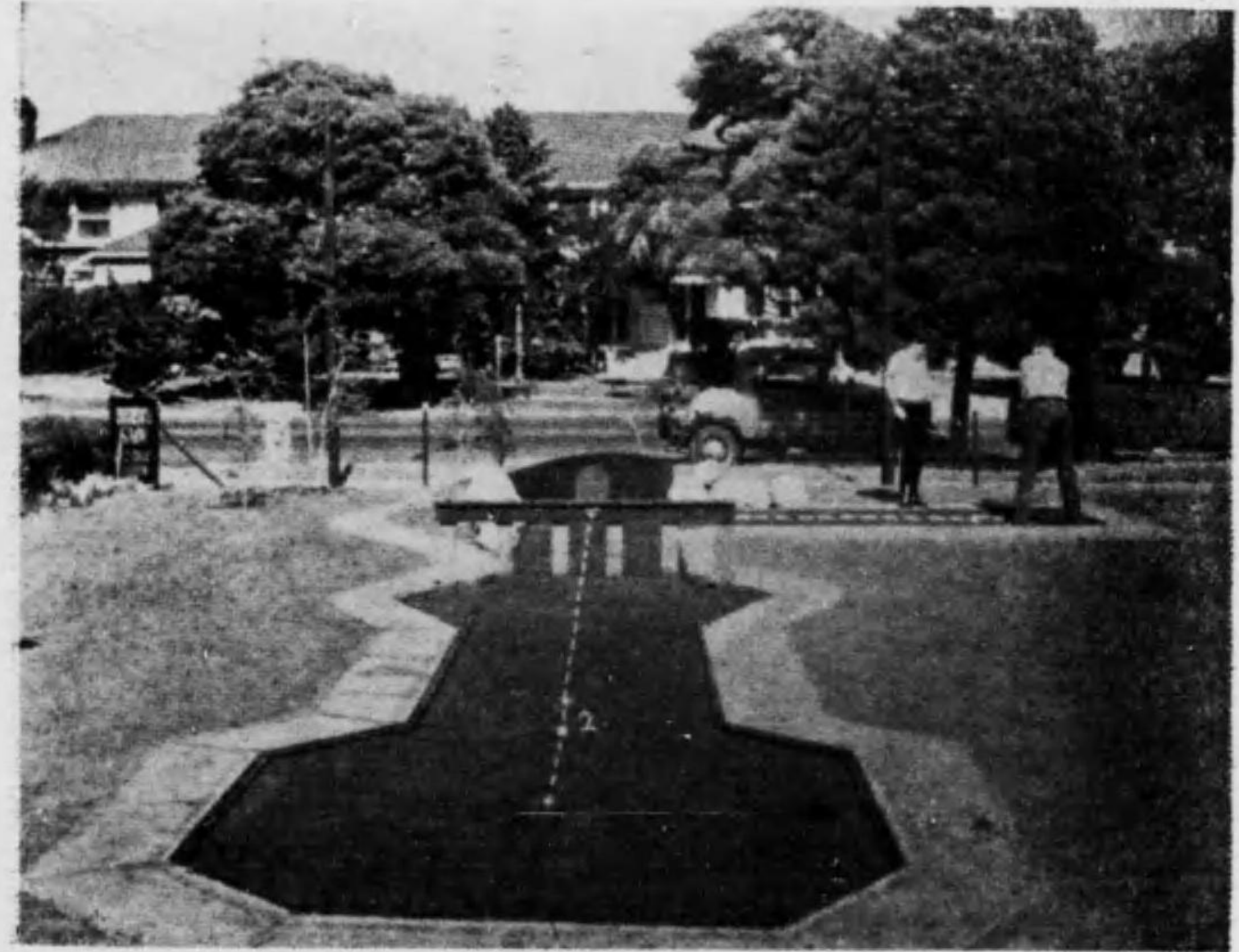
心の状態、ゲームに近づく様子が大切である。繰返して云ふが、どの競技者も娛樂のために試合してゐるのだといふ事實を忘れない様に願ひたい。若し競技者が一人又は一群の友人と一緒にならば冗談を互に盛に云ひ合ふだらう。競争の心持がはいつて来る。それは自然の事であり、益々



上に掲げたホールは南バサディナ、フェヤオークス、マグノーリヤにある「トウィン・フォールス・コース」の第十三番目のもの。長さ五十五呎バア4。白線で示してある如く第一打すると二つの縁に二重に屈折して跳ね返りそれからグリーンに導くフェヤウェイに達する。第一の曲角に岩があるので一屈折では駄目である。もう三打で成功するためには第二の打球は完全な速度と方向を必要とする。

り、若し接戦で勝つたとしても威張つてはならぬ。競技してゐる者が自分の知らぬ者であつても温い友情を持つべきである。他の競技者が長い困難な打撃を始めんとして球に向つて居る時あまり大聲で喋らぬ様に努める事。彼の注意を集中させねばならぬ。

此の困難な打球の際



之は代表的なロサンゼルスの小突起のあるくの字形コースである。若し中央上寄りにある赤い圓の鼻先に打当てれば球は點線の方に従つて轉がり、時には一打で成功する事もある。しかし若し中央の白い杭の中の本にでも打ち當てんかひどい目に合ふだらう。

興を添へるに違ひない。併しながら競争的努力は巧みに調節せねばならぬ。負けたときには善良な心持になる事を努め勝つた時には眞の打解けた心になるやう努めねばならぬ。或る哲學者の言に據れば眞の品性試験は負けた時でなくして勝つた時に現はれると云ふ。餘りいゝ氣味だと思つた

に兩側から又は前方で彼の視野を横切つて動いてはならない。さうすると彼の眼が球から離れ、不當にも失敗するに至る事がある。

若し綿の實の殻で出来た表面を持つコースで競技してゐる時は破れた芝生を再び元の様に直せ即ち球を不正確に打つた爲に出来た穴を元の様に滑にせねばならぬ。又グリーンやフェアウェイを歩いてゐて偶然に慥へた穴も同様である。

意見が合はぬ場合には聲高く又腹を立て、議論してはならぬ。靜かに、議論してゐる問題を番人に告げ、彼が決定したら文句なく従ふが良い。

大騒ぎする事は誰も嫌ふから常に忘れない様にする事。荒事、蹴球の如き競技振、押したり突いたりする事、又は大聲で叫ぶ事などは誰にも迷惑を掛け諸君の評判が悪くなる許りである。

又、若し諸君に冗談を云ひたがる癖があつたら、其癖はクラブ會館に上衣を預けるとき一緒に置いて來るがよい。皮肉屋の迷惑なのは、彼が所謂その頓智を適當に止めないのにある。自分の見知らぬ人にまで云ひ掛けたがる。彼等は事を好まない、そこで此の皮肉屋は愉快さうに、人の感情心持を傷けながら罵り続ける。誰か自分の惡罵の的になる者を選ぶ前に考へ給へ。「若し自分が罵倒の的となり、他人から笑はれてゐるとしたら、どんな心持であらうか」と。

是非とも従ふべき規則は速く競技を行つてゐる者には道を譲つて通過させてやる事である。居坐つてゐて競技の行進を邪げる時は、惡感情を捲き起す。そしてコース場主の儲け高を少くする。何故なら諸君が長く邪魔をしてゐる程、コースをプレイし、待つてゐる者のために道を明け遣る事の出来る競技者の數が増々少なくなる許りである。

も一つ従ふべき規則はハザードで規定の回数だけ打つて見て而も失敗した時には、次に移る事である。規則の許す四回又は五回打つて、罰としてストローク一本を加へ、次を遣るがよい。此處でも諸君が利己的にコースの邪魔をし、損失と惡感情とを起させないとも限らない。

「おどけた」球を打つてはならない。競技者がハザードで餘り巧く成功しないので一つのグリーン又はフェアウェイから他のグリーンやフェアウェイにコースを横切つて球を打始めるのを私は之まで見て來た。人々は此を豫期してゐないから自分を守る事が出来ない。かゝる打球は狂ひ易いもので、強く打たれた球で大怪我を蒙る事もある。

運が悪くても規則の惡口を云はず之を征服する様にせねばならぬ。既にティーの上から球を打ち出した時に其コースのコンディションは諸君により承認されてゐるのであつて、若し諸君が之に氣付かなかつたとすれば、諸君は立派なスポーツマンではない。

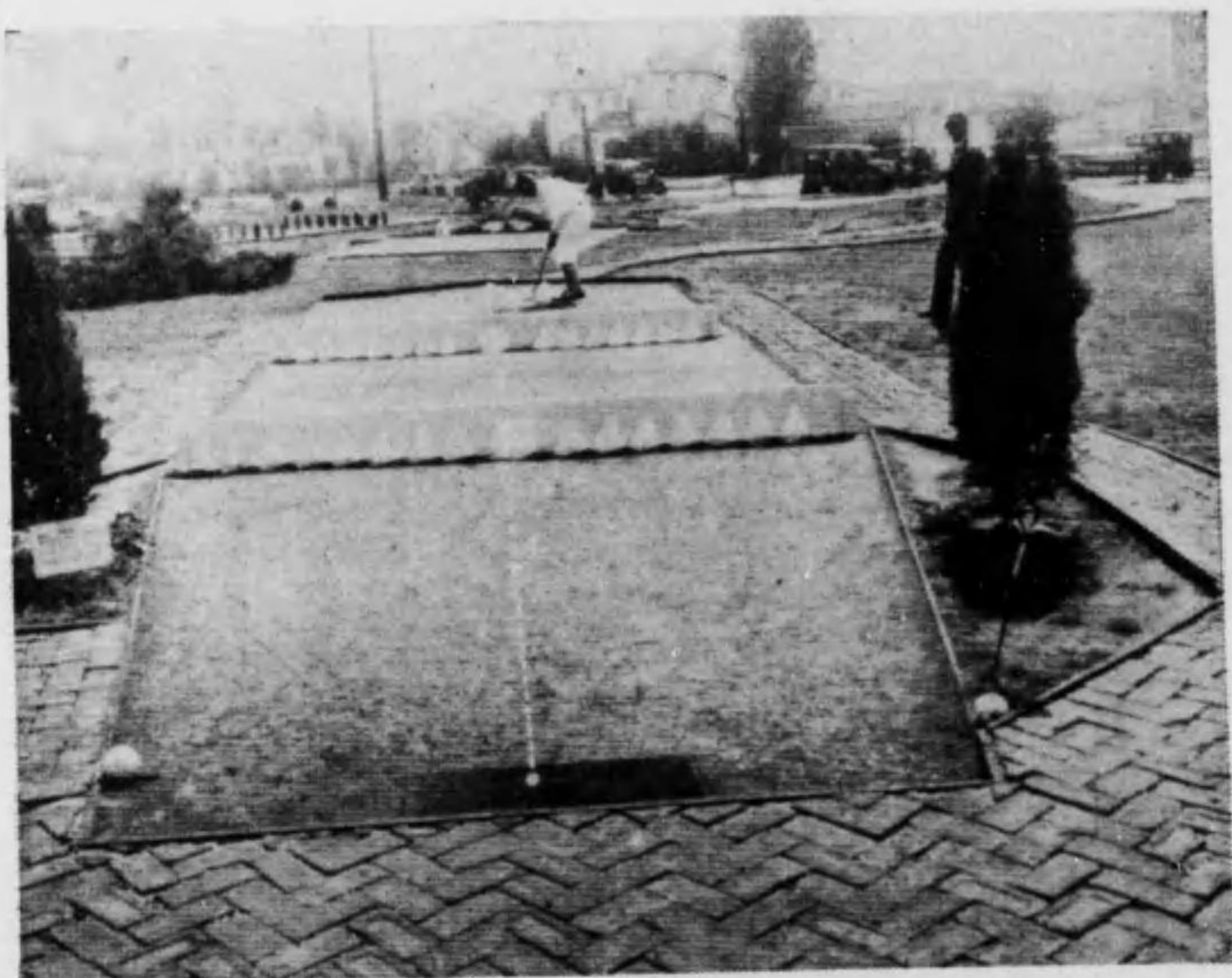
無鐵砲な若い人々は一ラウンドの料金を拂ひ、番人が背後を向いてゐる隙に再び割込んで二度競技をする事がある。之は決して自慢になる抜目なさではない。不正な事である。

以上云つて来た事はすべてのミニアチュア・ゴルフ競技者を指してゐるのではない。又彼等の大部分を指すものでもない。実際には、忠告を要する者は其数が極く少ない。一般大衆として云へば我々は大變に人が好く、親しみ易く又丁寧である。併しながら僅かながら少數の人間が居て多くの迷惑を起させ得るし、又實際に起す。眼の中に這入つた一粒の砂は決して大きくないが、確かに一日中を滅茶苦茶にしてしまふ事が出来る。

以上の注意を明かにするために、一つの物語を述べたい。ある婦人競技者が試合の際に非常に親しみ易く優しさうに見えた一人の元氣のよい若い人を相手にした。彼女は實際大へんに愛情深かつた、と云ふのは前に云つた競技者、(名はウィン嬢とでも云つて置かう)が打つて穴に入れ様と球に向つて構へたとき、眩の所にルーズ夫人が立つてゐた。彼女は友として非常な興味を感じてゐる様子だつた。併しながら敵が身近く立つて耳に息を吐く位にして居れば、誰だつて注意の集中は出来ない。ウィン嬢は靜かに云つた「どうぞ少し後に下つて下さいませんか、ルーズ奥様。」ルーズ夫人は濟みませんと呟きながら一、二歩下つた。ウィン嬢は球を打つた。ルーズ夫人

は以前ほど親しみを見せなくなつた。

次のグリーンでも同様な事が繰返された。ウィン嬢は再び、機嫌を悪くもしなければ、又自分の姿勢を崩したくもなかつた。再び彼女は低い聲で願つた。「やきもきしなくてもいゝぢやありませんか。」とルーズ夫人は叱る様に云つたが、後に下つた。



之はロサンゼルス市ウイリヤ大通り六〇〇番にある、「ボブ・オリック」の第一ホール。之は約四十五呎の眞直な打球を要し、バアは二つ。最も困難なハザードと云ふのは此の場合心的のものである。若しフェヤウエイの板を除くとしても打撃はやはり元と同じくフェヤウエイの中央を轉り下る正確な打球でなければならない。

第三のグリーンでは、以前と同様以上の事が起つた。ルーズ夫人は相手の注意により動いたが、自分の影がカップの上でなく球の上に落ちる所に立つた。之は全く人の氣を亂すものであつた。ウィン嬢は長い間相手を贖めた。ルーズ夫人は話し掛けながら、相手の眼を避けてゐた。遂に彼女はやつて来て、大袈裟に詫びながら其處から退いた。

第四のグリーンに達した時、ルーズ夫人はホールと球の前、間近に立つた。彼女の考へは明かだつた。ウィン嬢が打たと身構へる瞬間に身を動かして其打球を失敗させ様と云ふのであつた。

ウィン嬢は相手の所まで近づいて行き低い聲で云つた「ルーズ奥様、どうぞ私の後に立つて下さい。少くとも十呎以上、離れて下さい。動かないで下さい又喋らないで下さい。」そして彼女の眼は瞬いた。「あなたがこの試合に勝てるたつた一つの方法はクラブで私を叩く事です、併し若しさうなさるならば貴女は捕へられるでせう。」

ルーズ夫人は抗議し、腹を立て、試合に負けた。彼女は相手の心を混亂させ怒らせ様として細工をやり、自分でそれに掛つて仕舞つたのであつた。

第十一章 術語解説

此處にゴルフ術語の解説を掲げる。決して其全部がミニアチュア・ゴルフに這入つて居るわけではない。併し或る語は既に這入つて居り、其他語も大部分は確かに這入るであらう。之等の語を知らば、専門家の話も明瞭に其意味を知る事が出来る。

アドレッツィング・ザ・ボール——球を打つためにスタンスを取る事。

アプローチ——アプローチ打球をすれば球はもう一打でグリーンに達し得る位置に止まる。

アウェイ——ホールから最も遠い球即ちプレイする前の最初の球。

バアデイ——ホールに對しバア以下の人。

ビスク——一定の打撃數のハンディキャップ。之を與へられた試合者は、受けるも拒絶するも

自分の好き勝手である。

ボーギー——各ホールで或る一定の低い得点をしたと云はれる想像的人物。

「ボーギーの得点」を定めて置いてそれを競技者は競争する。

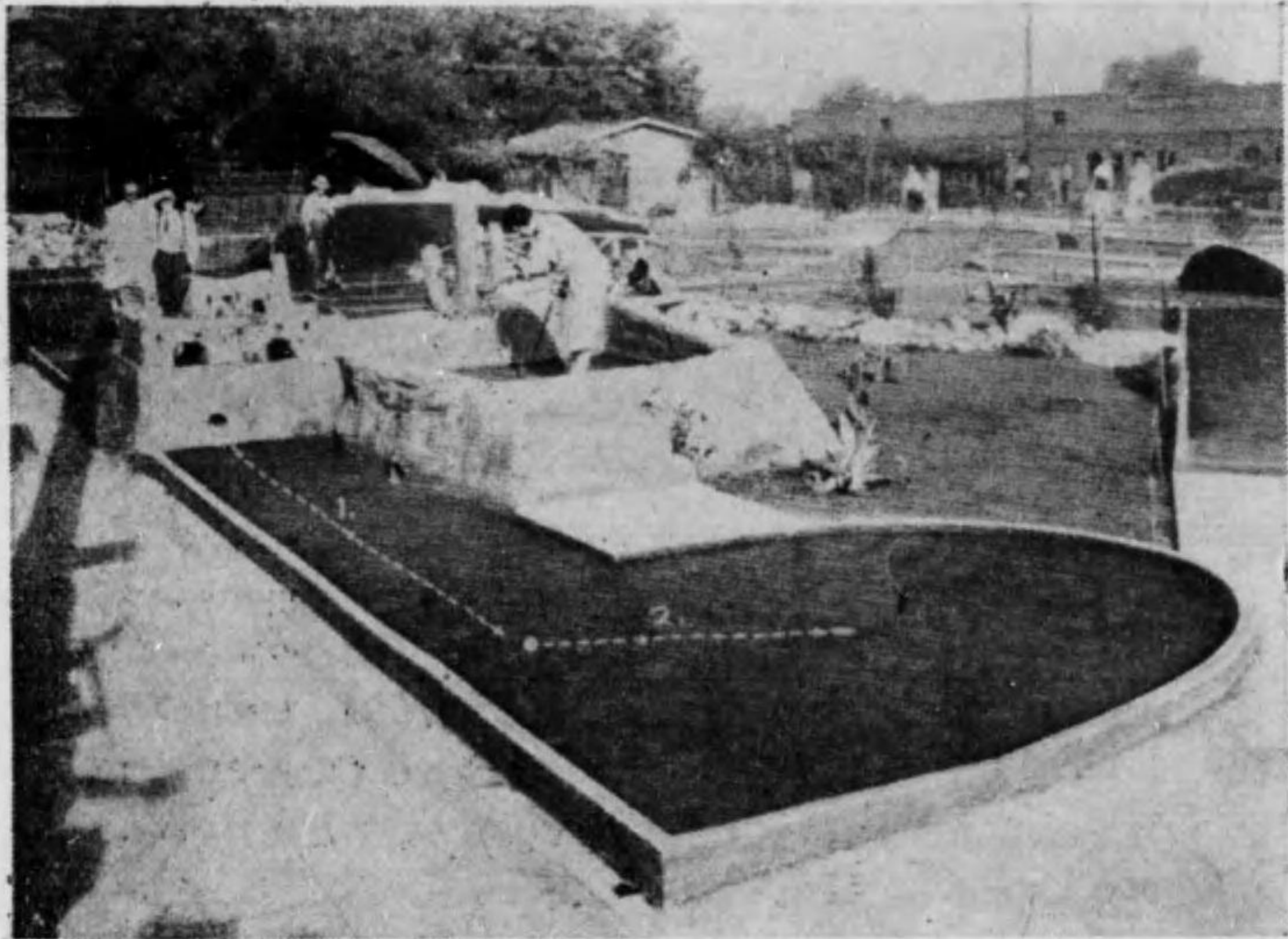
ブラツシイ——眞鍮の底金の附いた、ドライブ用の木製クラブ。

バンカー——下手な球を邪魔するため

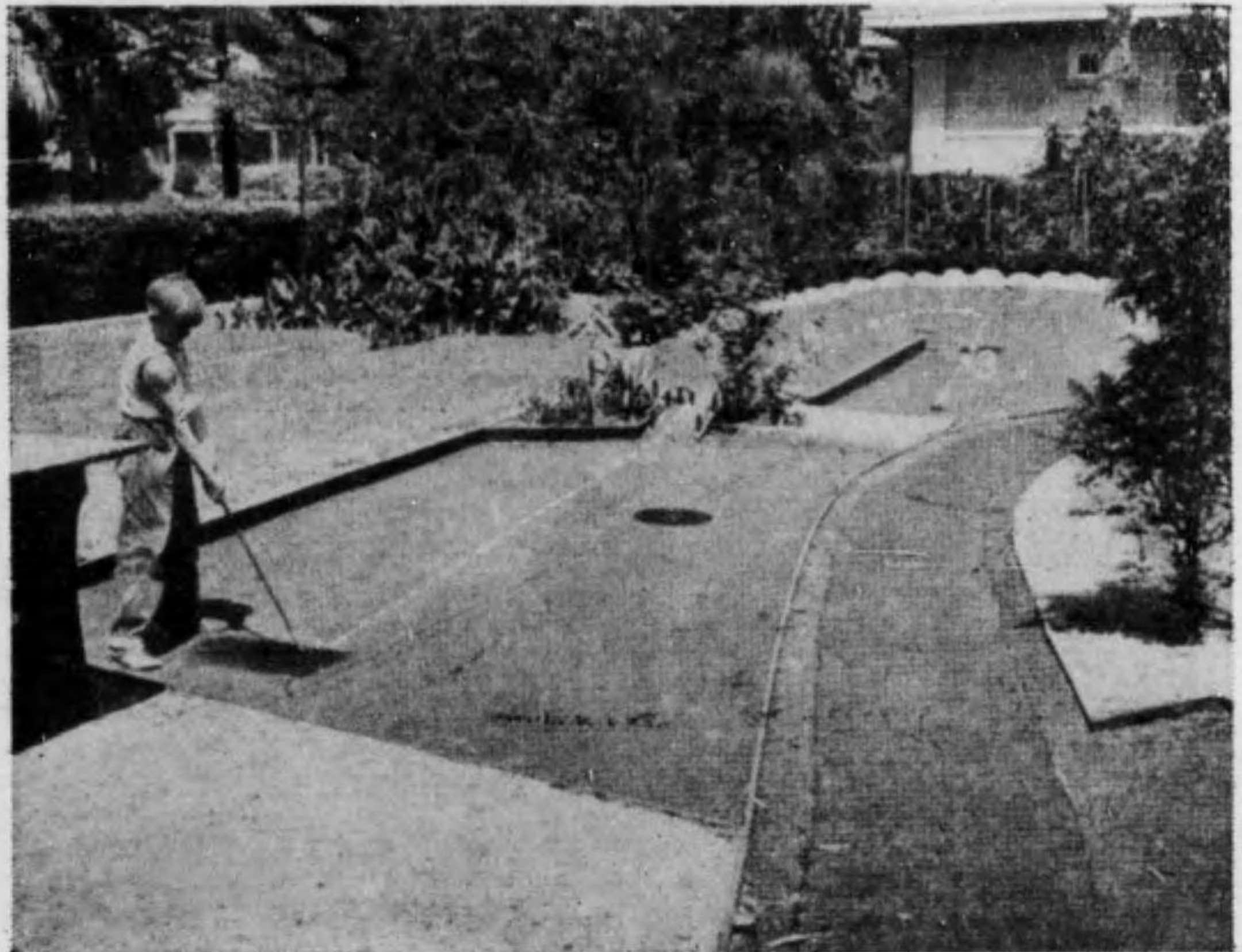
に置かれた、不規則な荒造の人工の築山カディー——ゴルフ競技者のクラブを運ぶ者。

クリイク——鐵頭のクラブ。大ゴルフに於て困難な長距離打撃に用ふ。

クラブ——球を打つ道具。普通ゴルフのクラブは眞鍮の底金が附いた木製のもの及び鋼鐵製の



之がカリフォルニア洲パサデナ、オウクノル街五十番地、「ギヤリー・ゴルフ・コース」の第十八ホール。長さ四十二呎。パア4。第一の打球は頂上に三つの入口のある傾斜面を打上げる。眞中の入口に當てればグリーンへと轉がつて行き第二打で成功する事も可能である。球が兩側の何れかの入口に入ると上のグリーンに轉がり、低いフェアウェイに達するためにカップを通過せしめねばならぬ。ギヤリーのコースは岩壁住人が其趣向で、愉快な人の心を引く所である。



ロサンゼルス市ウエストアダムス街一三四二番の「トゥィンクル・ガアデイン」の第二ホール。長さ五十五呎でパア3。第一打は正確に打ち小さな橋を通過せしめ、橋の傍の水のハザードに陥らない様にせねばならぬ。之が成功すれば後はグリーンに達するために堤に沿うてカーブの球を一つ打てばよい。二打で成功する事は不可能ではないが恐らくそんな事は起りさうもない。



之はロサンゼルス市第三街ヴァモント通りの「エル・パティオ・ゴルフ・コース」の第三ホール。此のホールは右に突出したカーブのある土堤でバア²。第一打球は土堤を充分に登り、自己の重みで球がグリーンに達する様に打たればならぬ。第一打が短いときは砂のわなに飛び込んでしまふだらう。一打で成功する事も此處では不可能ではないが、たゞまぐれ當りに過ぎないだらう。わなは1といふ数字の向ふ側にある。

のあり。

コース——リンク

即ち試合を遣る可く

設備された土地。

カップ——大ゴル

フ・コースの各グリ

ーン上の凹所、直径

四吋四分の一、深さ

四吋、普通は金属で

裏付がしてある。ミ

ニアチュア・ゴルフ

コースのグリーン上

のカップはもつと小

さい場合が多い。

カット——普通ドライヴィング・アイアンに依つて球に與へる反對廻轉、之に依つて球が地上を打つや否や直ちに停止する。普通ゴルフ・コースでは中距離又は短距離の場合グリーンから球を外さない様にするために用ひられる。

デッド——球がピンにデッドであるとは、球がカップの間近にあるので最早、穴に這入るのが確實な時に云ふ。反廻轉又は其他の原因により、地上に落ちたとき轉がらない時球が「デッド」に落ちたと云ふ。

ディヴォット——アイアンでロット打撃をなすとき、アイアンが深く切込んで裂れた芝生の斷片。

ドウミー——一人又は一組の競技者が相手方より勝越したホールの數が、之からプレイすべきホールの數と同一である時、その競技者はドウミーであると云ふ。

ダウン——相手方に勝越されたホール又はストロークの數。例「彼はタアンで三ダウンであつた。」と云ふときは、第九ホールが済んだ後に相手が三ホール又は三ストローク勝ち越してゐる事。

ドライヴァー——ティーから打出すに用ひる木製の頭の附いたクラブ。



左手利のプレイヤーのために一組の寫眞を挿んで巧く穴に入れる打球の方法を示す。球に向ふ所。



之は代表的なトム・サムホールでブレット・ハートの所謂「とつそり」と何喰はぬ顔した」チヤイナマンの様に一種變つてゐる。表面は何事もなき、うで約二十五呎の長、しかない。若しピンまで眞直に打てば——天晴れた。若し外らすと環を廻るが背後が高いのでピンまで眞直に打てないから前面まで逆戻りせねばならぬ、そして少くとも一ストロークだけ損をする。



ダツブ——立派な選手には及びも着かぬ得點しか取れぬ競技者。

ダツブド——下手に打つた打球で僅かの距離しか到達せぬもの又はホールを外れた見當違ひのとんでもない方向に飛ぶもの。

ダツファアードツブと同じ。

イーグル——一つのホールに對しバアより下、二打の時云ふ（大抵のミニアチュア・ゴルフのホールではバアが大體二つ又は三つであるのでイーグルを造る事は出来ない）。

イングリツシユ——例へば他の球などの障害物を弧を描いて避けながら進む爲に、熟練家が球に與へる廻轉とカーヴ。

フェイス——クラブの頭の一部で球を打つ個所。

フェアウェイ——ティーとグリーンの間のコースの部分で其所は障害物は殆んど無い。フェア

ウェイの草は常に短く切られてゐる。

フラツグ——普通ゴルフに於て、ホールの個所と番號を示す爲にカツブの中に置かれた棒に付けた小旗。

フーズル——下手な打球。

フォア——ストロウクの爲に危険に陥りさうな者に對して發する警告。

フォサム——二人が互に一組となつて競技する試合。

グリーン——ホールの周圍の打球芝生。

グリップ——柄の上部で皮に被はれ、クラブを握る個所。又クラブを支へる握り方。

ハーフ・ワン——一つ置きのホール毎にストローク一本を引くハンディキャツブ。

ハンギング——ハンギングの球とはホールへ向ふ傾斜面上の球。

ハーヴド——球を競技者が互にホールするに要した打數が同じなる時ホールはハーヴされたと云ふ。試合が同點に終つた時ハーヴされたと云ふ。

ハンディキャツブ——競技者の手腕の相異を平均するためにホールやストロークの數を割引する事。

ハザード——此の語は意味廣くバンカー、砂艮、水溜又は小河の水。コースの傍又は内を走る道路。長い草。荒れた凸凹の手入れしてない土地。雜草。もぐらもちの巢山。及び其他打球の邪魔をする障害物を云ふ。心理的ハザードとは、競技者がある特殊のホールをプレイする時、妙に神經をいら立たせる或る心の状態——即ちフードウ（ケチを附ける物）を云ふ。

ヘッド——クラブの端の球を打つ個所。ヘッドの各個所を呼ぶ名にソール。トヴ。ヒール。フェイス。ネットク。及びノーズがある。

ヒール——クラブの長柄即ちハンドルに最も近い個所。又は球をクラブの後方で打つて、へまな打撃を遣り、球をダツプする事。

ホール——カツプの個所を見よ。

ホール・イン・ワン——ティーから打球して一打で球をカツプの中に入れるを云ふ。普通ゴルフ・コースに於て之を爲すは注目し價する。

ホール・アウト——グリーン上の球を穴に入れる最後の打球。

オーナア——ティーから球を第一番に打出す権利。第一のティーでは禮儀によつて決定されるが次のティーからは前のホールで得點の低かつた人がティーを決定する。得點の低い人が第一に打ち其他は得點順。ホールがハーヴになつた時は、オーナアは其又前のホールの勝者に與へられる。

フツク——普通ゴルフに於て、非常に左にカーヴする球。スライスの反對。スライスは右にカーヴする。上手な競打者は故意にフツクする事がある、と云ふのはフツクすると一層遠い距離に到達し得るから。球の中央をやゝ外れてクラブのヒール寄に打つとフツクになる。下手な競技者は常にフツクする——さうしやうと思はないで——何故ならばクラブのトウで球を打つからである。

ホーセル——柄を差込む、鐵頭クラブの窩。

アイアン——すつかり鋼鐵で出來たクラブ、其頭はロフト即ち球を空中に打擧げる事が出来る角度に曲げてある。

ライ——打たれた球が停止する位置。良い「ライ」は前方に障礙物のない、フェアウェイかグリーンの上である。悪い「ライ」は荒地、砂艮、ハザードの後、又は其他の困難な位置 云ふ。

ライク——若し相手が諸君よりストロークを一つ多くプレイすれば彼は「オツツ」を得るのである。諸君が打てばライクになる。即ちライクの位置に居るとは、諸君と其相手との之までの打數が相等しい意味である。若しお互に一つのホールにストローク三本を要したとすれば、二人はライクの位置に居る。

ライク・アズ・ウィー・ライ——前と同じ。

リンクス——コースの事。



打球せんとクラブを振り戻す所。ブレイドは地を離れてゐるが、地に平行してゐる。ブレイキはオウヴァラツピング・グリツプを用ひてゐる。右手の人差指を埋めてゐる有様に注意せよ。

ロフト——ストロークして、球を空中に打擧げる事。

マツシイ——普通ゴルフに於て、ニブリツクとミツドアイアンとの中間に使用されるクラブ。

マツチ——競技者間又は組になつた競技者間の試合。

マツチ・プレイ——ホールを單位とする試合。

メダル・プレイ——ストロークの數により勝者を決定する試合。

ナツサウ——最良のアウト得點(最初の九ホールの)最良のイン得點(次の九ホールの)及び試合に於ける最良の得點を云ふ。此等の各々を一ポイントとして勝者を決定する。

ネツク——長柄に固定したヘッドの曲り目。

ニブリツク——普通ゴルフ用語。大きく、廣く重いフェイスの鐵のクラブ。轍の跡、雜草面、或ひは割れた荒地等困難な場所に球が這入つた時に使用する。

ノーズ——クラブのヘッドの先端又は前部。

オツヅ——上手な競技者が下手な者に與へるハンディキャップ。一つのオツヅを得るとは、相手よりストロークを一本だけ餘計に打つ事である。

パア——ホールに對する完全な得點。パアは注意深く實驗し、打球した後に定められるもので優



球は水平に正確に打たれた。右膝は曲り、重量は左足に掛る。

秀な競技者が通常そのホールをプレイするに要するストロークの最少数である。以上はミニチュアゴルフで云ふ事。普通ゴルフではパアは單に距離に依つて決定されるもので各グリーンに對しストローク二本を許す。

プレス——沮喪した氣持を恢復しやうとしてひどく打つ事。プレスするのは通常増々不幸な結果になる。

バル——グリーンに於て微妙なストロークに依りホール・アウトせんとする事。

パッター——眞直な固い柄のクラブ、大抵は金屬のヘッドが付き、球がグリーンの上にある時用ひられる。(ミニチュア・ゴルフに於てはフェヤウエイ上にある時にも用ふ)パッターの双面は眞直で、フェイスは柄の線に續いてゐる。ロフト用アイアンのフェイスの様に凹んで居ない。パターは地上に接して球を進めるに用ひ、決して空中に打揚げる爲に用ふべきではない。

パツティング・グリーン——グリーンと同じ。

ラフ——フェヤウエイの何れかの側にある長い草と凸凹の土地。

ラボ・ザ・グリーン——普通ゴルフに於て不利益又は利益となるプレイの偶然。若しへまに打つた球が樹に當り、跳ね歸つてグリーン上に落ちるときは、利益のあるラボ・ザ・グリーンである

巧く打つた球が、フェヤウェイ上の捲いたホースに觸れ、ラフの中に跳び込むならば、不利益なラボ・ザ・グリーンである。

シャフト——ゴルフ・クラブの柄即ち棒。

スライス——通常、クラブのノーズで打たれ、左から右への廻轉を與へられ、進路を外れて、遙か右寄りになるカットされた球。フツクの反對。

ソール——クラブのヘッドの平たい底。

スプーン——普通ゴルフ用語。木のヘッドのクラブで球をロフトするためにフェイスが凹んでゐる。

スプリング即ち「ウィップ」シャフトの柔軟性又は弾力性

スクェヤ——各の組又は競技者が何れも先頭に立たず、ゲームが平等に均衡を保つて居る時を云ふ。

スタンス——競技者が球に向ふ時の彼の位置殊に足の位置を云ふ。

ストローク——球を打つ動作或ひは打たんとする試。普通ゴルフに於て、スウィングを遣り球に少しも當らなかつたら、一ストロークと見なす。ミニアチュア・ゴルフの打球に於ては球にバ

ツターが觸れた時、たとひ球は動かなくても一ストロークに算へる。

スウィング——普通ゴルフに於て、ドライブ又は其他長打をなす際にクラブを大きく振る動作
ティー——高くなつた長方形の芝生——普通ゴルフに於て——其處から球を打出す。第二の意味は圓錐形の砂、又は凹んだ頭のある木釘で其上に球を乗せ第一の意味のティーから打出す。ミニアチュア・ゴルフのティーは通常、グリーンの表面と同じ高さに埋めたココア・マツトである。

サード——三番目のホール毎にストローク一本を差引くハンディキャップ。

スライサム——三人が一緒になつて試合する事、又普通ゴルフに於ては、一人が一球を以て他の二人の一球に對抗して競技する事。

トゥ——ノーズ即ちクラブのヘッドの前面。

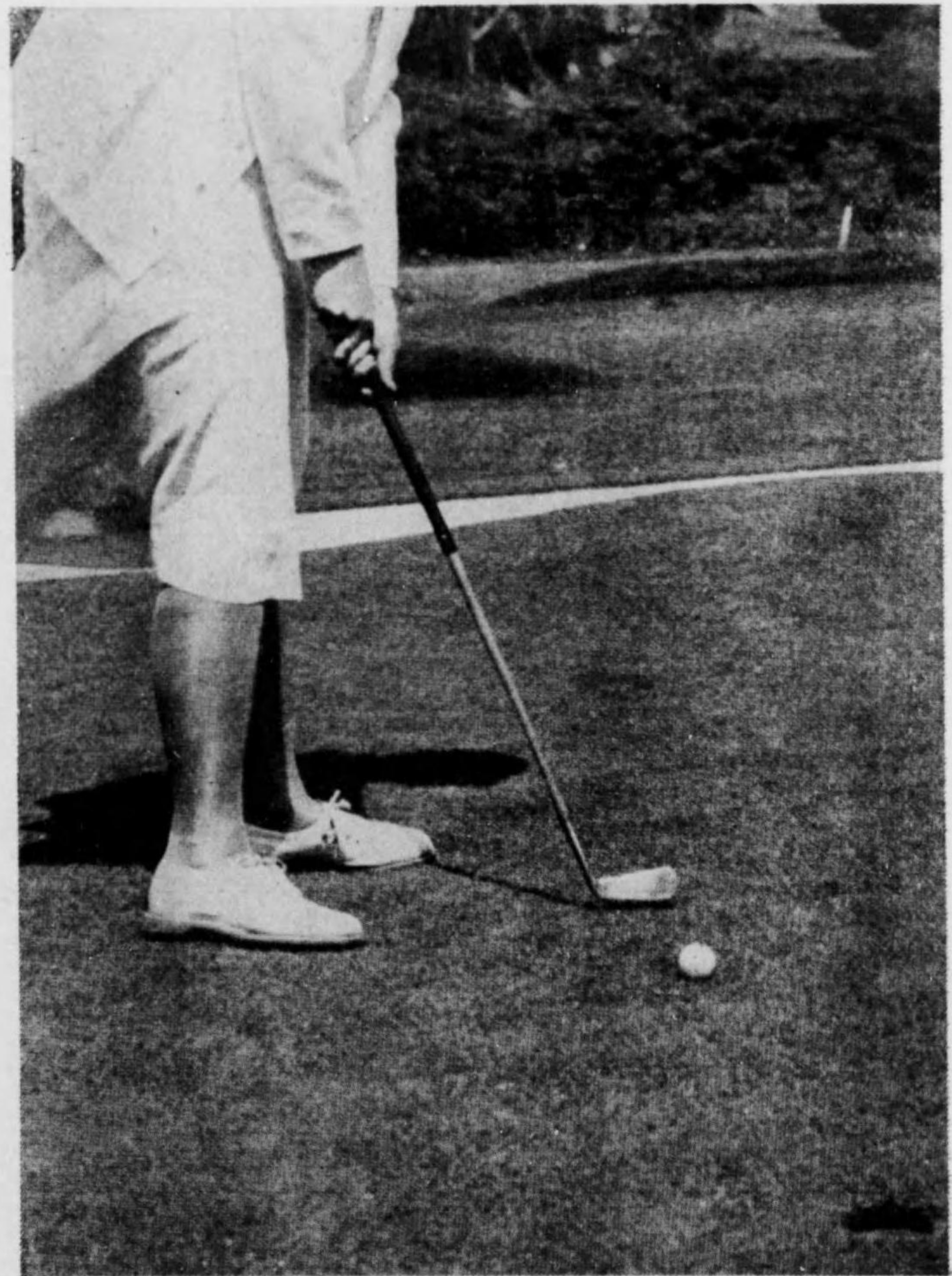
トップ——球の中心より上を打つ事。何れの種類にせよロフト用クラブでトップされると、通常へまな打撃となり、當然ならば長距離を飛ぶために空中に打揚げられるのであるが、其代りに僅かな距離だけ地上を跳んだり轉つたりする。

アップ——一人の競技者又は一組が相手方より勝越して居るストロークの数。ダウンの反對。



球がかなり進んだので一寸寬いだ所。クラブを後に曳き振子の様に前進させ、それが重みで自然に止つた今になつて始めて彼女は球から眼を外らす。

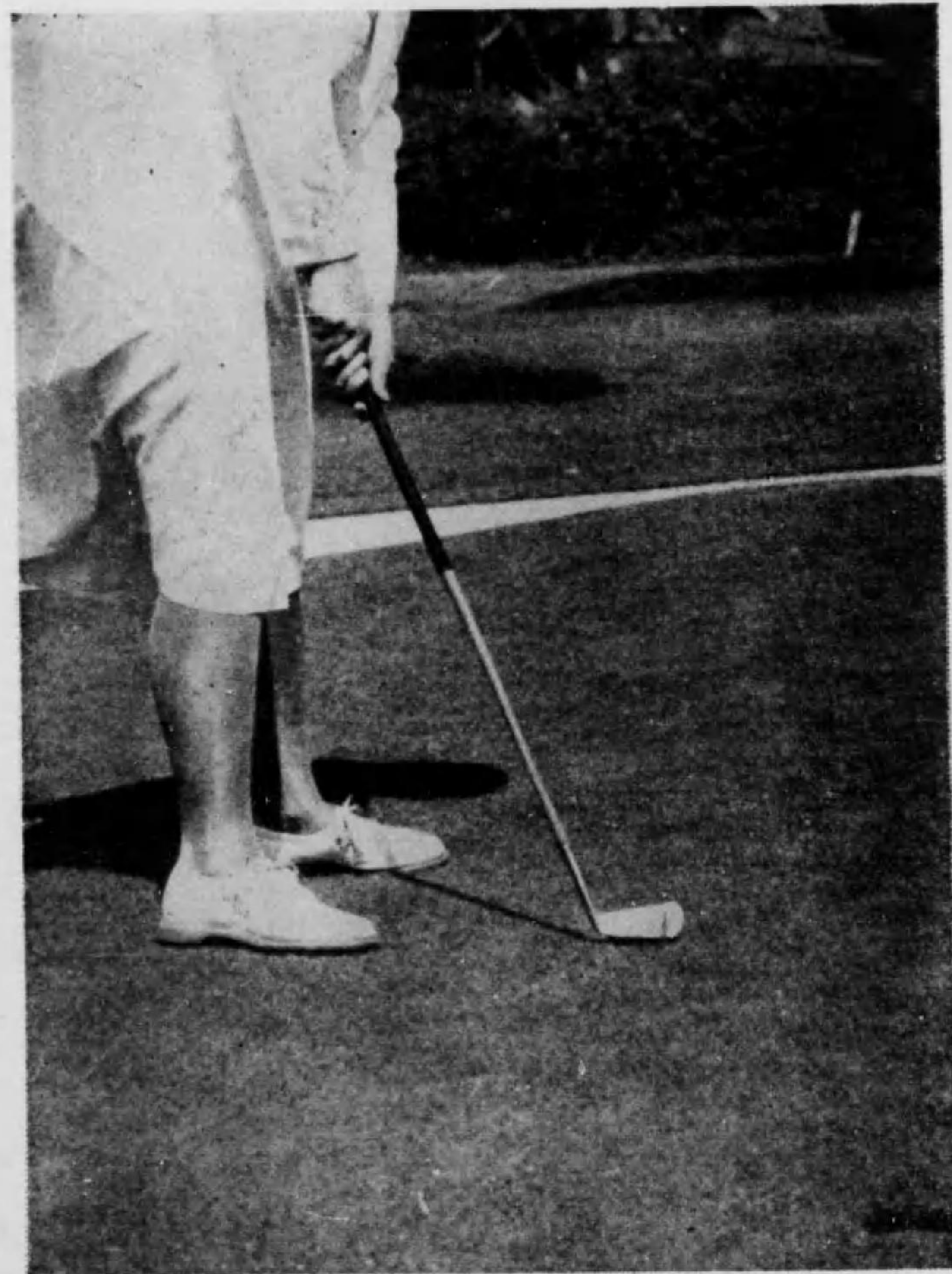
105



きちんとした楽なスタンス、びたりと附けた肱、クラブの立派なしつかりとしたグリツプに注意せよ。

104

ウインス——スコットランド語、雑草や低く茂つた一群の藪を指して云ふ。
ウイツピング——ヘッドと柄を結ぶ張つた紐。



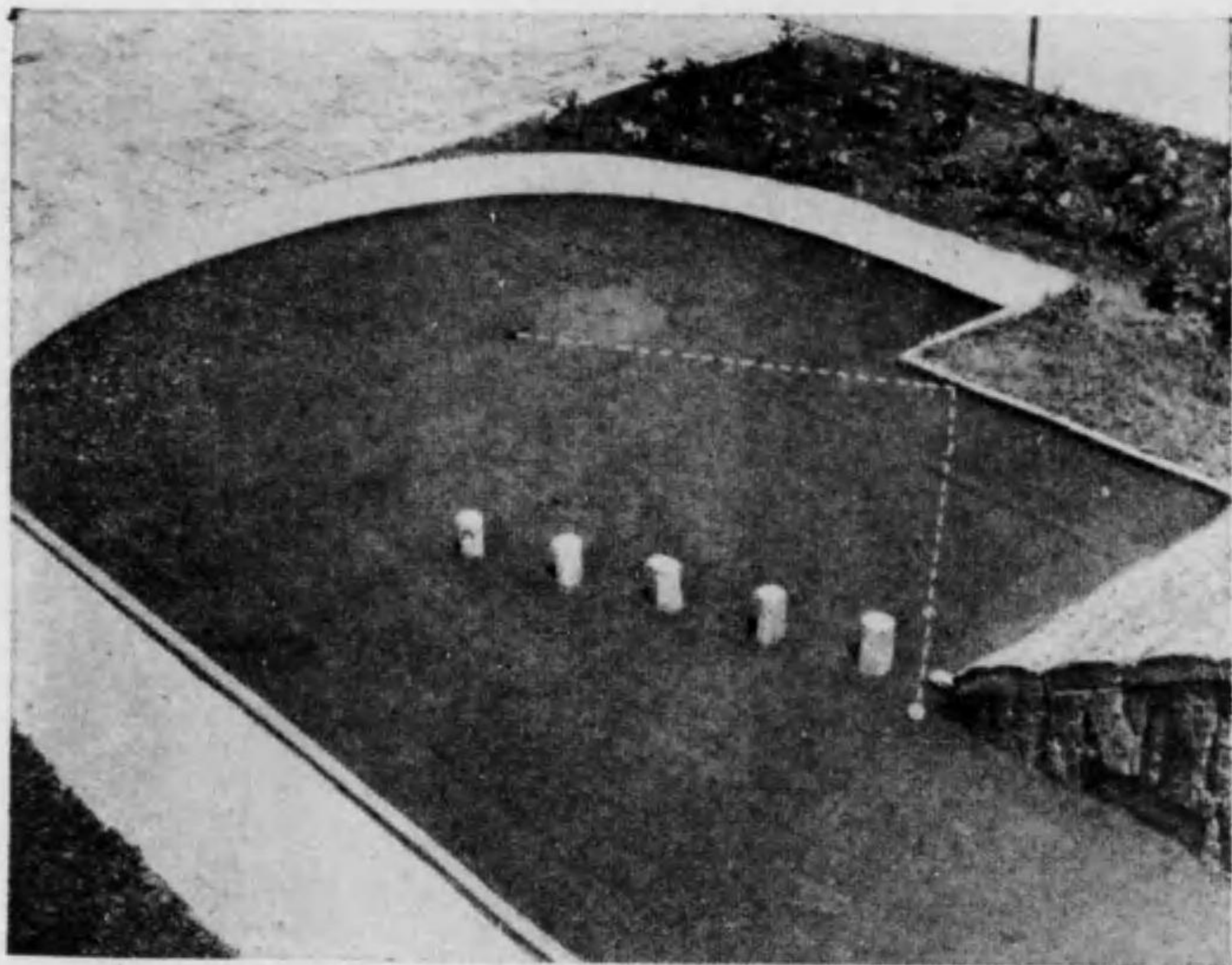
1 完全な打球。彼女はバッターの中心、球の中心、カップの中心を一直線上に保つた。水平に振り下し、バッターを其儘前方に進め、のろのろ躊躇せずに、鮮に打つた。

第十二章 曲折打撃の事

諸君が此處まで此の本を読み続け、出掛けて行つて與へられた指導を眞面目に練習し諸君の腕が上達したものと假定しやう。諸君自身及び諸君の友人は諸君を立派な競技者——つまり普通以上と思つてゐる。

諸君は三つの階級の中第二階級に屬して居る。之は大まかな分類で一吋した推量に過ぎない。併し私の見た所によると、次の様な三階級がある。五パーセントは上達の見込みなき赤下手な者。九十パーセントの、かなり出来る者から立派な競技者に至るまでの列。五パーセントは第一流の選手である。

諸君は中流の大階級に屬して居る。若し諸君が一つの事を遣れば上流の五パーセントの列に參加し得る。コースのアングルを遣り給へ。



此處に設備があるとしやう、各コースは少くとも一つのホールがあり、或者には三つ又は四つある。そしてフェヤウェイを横切つて、障碍物がある。隙隙物は、眞直に立てられた溝の附いた板や、一列の杭や、二列の互違の杭——即ち一組の杭が他の組の背後にあり、後方の杭が一部分前方の列の隙間を満してゐるもの——より成立つてゐる。

二列の直立した材木が其

を打つと、丁度正確に第一の角度と同じになる事を念頭に置いて、カッブとの關係に依り何處に球を打當てる可きかを計算する。若し正しく推定すれば打球して穴に入れるか或ひは直ぐ間近に來て次の打撃で打たれる事にならう。之を廻り道すると——安全なプレイに依り隙間の前に入るまで打ち、結局テイの打撃を加へると、全體で四打を要する。屈折打撃すれば樂な三打或ひは二打で済むかも知れない。斯の如く頭腦を用ひて打撃を節約してこそトウナメントの勝者となれるのである。

以上は簡単な二屈折の打撃である。そして三屈折の打撃も時として同程度に容易な——或ひはもつと容易な事さへある。二つの打撃共にカリフォルニア州イーグルロック・ミニアチュア・ゴルフ場に於て、其創始者なる支配人ジョン・ホルトに依り實際に示された。百五十フィート四方ある此のコースはコロラド大通り二千番地にある。先づ二屈折の打撃の方を見給へ。寫眞により分る如く、第二番ホールは三十二フィートの長さでパーは二つ、そして、縦九フィート、横十八フィートの不正形のグリーンに終つてゐる。V字形の杭の列があり兩翼は三フィートの長さがあり、口は開いてゐる。カッブに向つて開き約八フィートの距離からカッブを守護してゐる。其幅は四フィートある。正面を見るならば、ホールは左側にある。

第一番打撃をすると球は材木障碍の間又は其上に轉げ、通常次の打撃には都合の悪い場所に止まる。杭は密集して立てられてあるので其中央を通り抜ける事は困難である。大低の場合人々はさうし様として邪げられ、安全にプレイして好い位置まで少し宛進まんとする例の望みが起る。すると必ず一本の、時として二本の餘分な打撃が必要となる。

然るに此のグリーンに導くフェアウェイの兩側は必ず唯の一打撃で到達し得る。注意して推定すれば屈折の角度が分る。彼は縁に打當て反轉させてカッブの傍近くか或ひはカッブの中へ打込む。以上の事は寫眞に依つて示されて居る。私は點線に依つて示された打撃を試みて見たが大低はホールに入り十二乃至十四インチ以上離れて止まつた事がない。勿論、グリーンをよく知る必要がある。之の事は大切である。

イーグル・ロック・コースに於ける第六番ホールで三屈折の打撃がなされた。之は百二フィートの長さの眞直なコースで、多くの障碍物があるが、若し眞直に強く打球するならば邪魔にはならぬ。併し困つた事に眞直に強く打てない。又屢々グリーン附近で困難に出會すのである。

此處には四對の木材があり、直徑各六インチ以上で眞直に立ちフェアウェイと同方向に列んで居る。此の障碍の間近く球を轉がし、ホールへの進路を邪魔されたと假定しやう。再び諸君は

僅か數インチの距離を打つて出て、眞直なコースの中央を通り抜けてカツプに達し様と云ふ欲望が起る——そして勿論、之は爲すべき事ではない。

私は球を固い場所に置いて右側の縁の上方目掛けて屈折打撃をした、球はグリーンを横切つて左に走せ返つた。そして同様な長い屈折線を描きながら左側に達しグリーンの左側の縁に當つた。さて寫眞を見給へ、このグリーンは金鋼石の頭の形をして居る。と云ふのはかなたの端が集つて一點となつてゐる。故に第二の屈折をなすべき縁はそれ自身丁度尖つた上端に達すべき角度をしてゐる。球が此の斜の縁を打つと直角線の方にグリーンを水平に横切りホールに向ふ一直線上に進む。ホールに這入る事も屢々であつた。二屈折の打撃よりも一層容易に穴に這入る打撃であつた。

我々は屈折打撃を正當な打撃であると信ずる。何故ならば之を遣るためには巧く球を打つ基礎をしつかりと充分に心得て置く必要があるからである。

足の位置を適當に占め、クラブを適當に握つて之を支へ、すつと其儘支へて居ねばならぬ。兩手を置く可き所に置かねばならぬ。諸君はバッターの双面の中央と球の中心とを、打ち當てる可き縁上の一點と共に一直線上に列べねばならぬ。バッターのヘッドを滑かに水平に振り戻し、

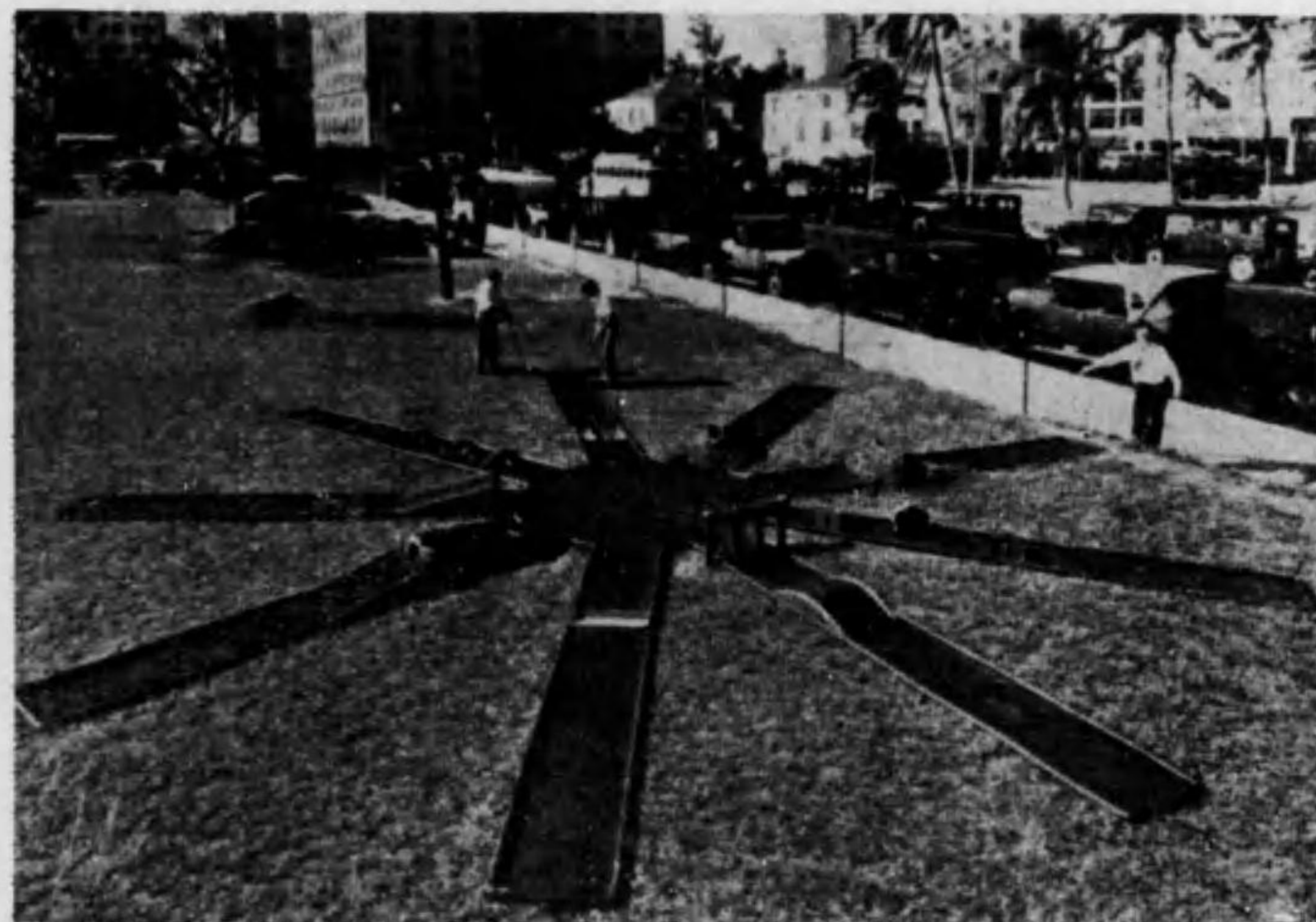
又同様に流れる様な動作で、球を打つべく前進させねばならぬ。バッターのヘッドで球をいはゞ貫き透す様に打ちバッターが自然の惰力で止まる様にせねばならぬ。球に目を注ぎ、打出された後も元あつた場所を賸めねばならぬ。

球は滑かに力強く打ち、決して痙攣的な打ち方をしてはならぬ。擦つたりそつと押ししたり、力強く打たうとした心を變へてはならぬ。そして、決してプレスしてはならぬ。プレスしてはならぬとは、餘り強く打たうとしてはならぬといふ意味である。

若し諸君がプレスするならば、球が云ふ事を聴かない事を知るだらう。ミニアチュア・ゴルフコースの表面は——綿の實殻で出来たものを除いては——堅牢な基礎のものがどしどし増加して居る。球を痙攣的に又亂暴に打てば、直ちに跳ね上る。決して轉がらないで、ピョン／＼跳ね飛び、大低は境界からとび出してしまふ。

だから低く滑かに水平に地上に近く振り下さねばならぬ、すると球は地面を沿うて一定の速度を保ちながら轉げて行く。

もう一つ此處に諸君が遣つて見ても決して何等の益にならぬ事がある。それは屈折打撃にイングリッシュを掛けて變化させ様とする事換言すればバッターの双面を斜に球に觸れる様にして打



之は子供用のトム・サムコースの一つの型です。今まで西部には餘り廣く造られなかつた。併し、大人用のミニアチュア・ゴルフ・コースを具へてゐる遊覽宿や市民公園には之から追々、小供にも設備してやる必要がある。かゝる小供用のミニアチュア・コースは子供のために小形 パツターと小さな椅子を與へてゐる。

球する事である。かうして打球しても與へられた方向は直線的で決して曲らない眞の平面に或る角度を以て打ち當てられた球は反撥する際に、最初の角度と全く同一の角度で反撥し、も一度眞の平面に打當てられても最初の二角と全く同一の角度を爲すは之れ物理學の法則である。尤も時としてそれを微かながら變化させる小さな障壁のある事は參斟せねばならぬ。

縁の前方に四十五度の角を以て打たれた球は、縁から新しく四十五度の角を以て反撥する。そして球が情勢を有する限り同じ事が繰返される。併しながら球が、屈折打撃の第三の例に於けるやうな表面に當る時には變化に應じて新方向に向ふ事を忘れてはならない。

屈折打撃はミニアチュア・ゴルフに新しい魅力を與へる。此のゲームはクローケ打球戲の領域を離れて、正確な微妙な手練を要する遊戯となる。得點を低下させる可能性は殆んど無限である。種々の競技を見且研究する人は將來ミニアチュア・ゴルフ界に於けるポビー・ジョンズ、ウオルター・ヘギンズ又はハウトン・スミスとも云ふ可き人に成るであらう。

(終り)

昭和六年五月二十五日印刷
昭和六年五月三十日發行

定價 金五十錢
送料 金六錢

譯者

往來社翻譯部

發行者

山根次郎

發行所

往來社

東京市麹町區內幸町一ノ六商興ビル第三號館
振替東京七七九〇七
電話銀座 五五一一

印刷所
印刷者

東京市芝區田村町五七
山縣秀美堂
山縣秀三

往來社出版目錄

ヴェ・ブドーフキン著 佐々木能理男譯 映畫監督と映畫脚本論 定價一圓五十錢 送料十錢	レオン・ムーシナツク著 飯島正譯 ソヴィエトロシヤの映畫 定價一圓五十錢 送料十錢	往來社編 新撰映畫脚本集(上下卷) 上卷一圓三十錢 下卷一圓五十錢 送料各十錢	山村冷男共著 西國 發音映畫入門 定價二圓 送料十二錢	鈴木傳明著 映畫俳優讀本 定價一圓三十錢 送料十錢	アダ・チュマチェンコ著 本間七郎譯 陽のあたる家(ソヴェエト童話) 定價一圓 送料十錢	佐々木能理男譯 發聲映畫監督と脚本論 定價一圓五十錢 送料十錢
--	---	---	---	------------------------------------	---	--

新刊

自愚漫
 傳談談
 八篇八篇八篇

「あゝ世は夢か幻か」——頭には霜を交へ、
 デンタの哀調に人の世の寂しさをかこつ哀
 しきユーモリスト徳川夢聲が彼の愛する妻
 や子や、そして彼の親しき友を繞りて織出
 されし種々なる事件の真相を語り心境を語
 る麗筆、涙と笑ひの交響曲。

クロース・箱入豪華本・挿繪入

徳川夢聲著 令嬢俊子氏裝幀
 夢聲軟文集

定價一圓五十錢
 送料十錢

往來社刊

アダ・チユマチエンコ作
ゲ・トガノフ畫

本間七郎譯

定價一圓 送料十錢
樹形 鶴ルビ附 美本

陽のあたる家

集話童ト一ェヴソ
！來出版再

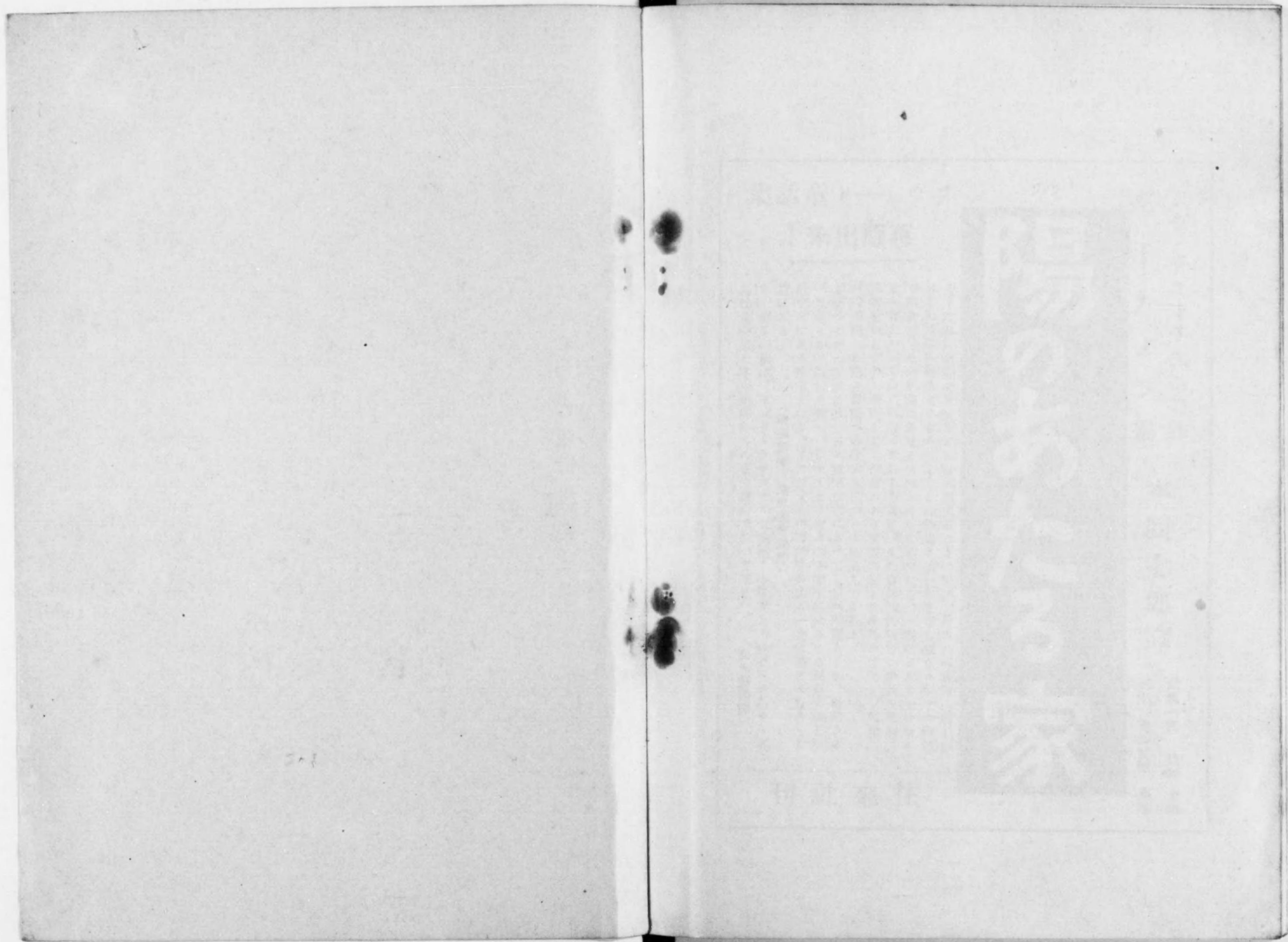
……これは童話のリアリズムを明示することに於て、日本の新童話に新しい多くの問題を提示するものだ……この物語りはいふまでも無くロシアの物語であるが、その興味は單なる一地方的なものでなく、一種のインターナショナルなものがある。内容の面白さと共に、その自然的物語りの發展の興趣は讀者を知らず／＼牽引して、作者のよき素質に満ちた非凡な才能と、児童心理に通曉した高い目標への指示をばつきり知らしてくれぬ。

従つてこの童話集は、日本童話作家にとつても當然問題とされ、研究さるべき多くの好題目を興へ、ジャーナリズムの支配下にのみある児童文學を解放するによき標本となり、リアリズムの轉向に資する一参考書ともならうと思はれる。

(東朝新聞。清水暉吉氏評)

……明るい童話、インターナショナルな童話……子供たちのバ、さんマ、さんには是非この本を子供たちの爲に読んでやつて下さい。(女人藝術評)

刊社來往



終

終